Media SMS for Salesforce

Copyright ©メディア 4u Inc.

改版履歴

日付	更新内容	改版
2021/01	初版	1.0.1
2021/03	Ver1.3 ・ 4.実際のご利用例 「活動の登録について」について追記	1.0.2
2021/03	Ver1.4 ・その他の設定　③カスタムメタデータ型その他の設定 「差し込み項目」の設定を追記 ・ 4.実際のご利用例 「短縮 URL」のご利用について追記(一括送信にて実装)	1.0.3
2021/04	Ver1.5 ・ 4.実際のご利用例 「短縮 URL」のご利用について修正(個別送信にて実装)	1.0.4
2021/06	Ver1.6 ・ 1.概要 「＊注意＊」を追記 ・ 2.ご利用に向けての設定 ③リード(個別送信)、取引先責任者(個別送信)、キャンペーン(一括送信)に、SMS 送信情報(オブジェクト)/リスト SMS 送信情報(オブジェクト)を作成・表示するためのレイアウトを設定 レイアウト設定を追記	1.0.5
2022/01	Ver1.7 ・その他の設定　③カスタムメタデータ型その他の設定 「URL クリック結果取得期間月」の設定を追記 ・「EX.URL クリック状況確認の設定」の項を追加	1.0.6
2022/06	Ver1.8 ・カスタムメタデータに「バッチ処理遅延間隔」の設定を追加 ・ SMS 送信テンプレートのタイトルにて入力規則を追加 ・「EX2.うまくいかないときのトピックス」の項を追加	1.0.7
2022/10	Ver1.9 ・2. ご利用に向けての設定「⑦SMS 送信結果受信バッチスケジュール設定」 登録バッチの変更 ・ 4. 実際のご利用例 「＊活動の登録について」 設定と仕様の変更 ・ EX. URL クリック状況確認の設定　登録バッチの変更	1.0.8

Copyright ©メディア 4u Inc.

目次

1. 概要 ____ 4
2. ご利用に向けての設定 ____ 4
① SMS 送信元番号の確認
② 外部 API の URL の登録
③ リード(個別送信)、取引先責任者(個別送信)、キャンペーン(一括送信)に、SMS 送信情報(オブジェクト)/リスト SMS 送信情報(オブジェクト)を作成・表示するためのレイアウトを設定
④ リード(一括送信)、取引先責任者(一括送信)を作成するための検索レイアウト設定
⑤ SMS 送信する場合に承認を必要とする設定
⑥ タブに SMS メッセージテンプレートのオブジェクトを追加設定
⑦ SMS 送信結果受信バッチスケジュール設定
⑧ SMS 送信情報/SMS リスト送信情報オブジェクトのレコード詳細画面レイアウトの設定
3. その他の設定 ____ 23
① 各オブジェクト(リード、取引先責任者、キャンペーンメンバー)の設定
② SMS メッセージテンプレートの追加と編集
③ カスタムメタデータ型その他の設定
4. 実際のご利用例 ____ 30
＊短縮 URL
＊活動の登録について:設定
＊活動の登録について:仕様
＊活動オブジェクトが追加されない場合

EX. URL クリック状況確認の設定 ____ 46
EX2.うまくいかないときのトピックス ____ 49

Copyright ©メディア 4u Inc.

1. 概要

本製品「Media SMS for Salesforce」は各国内キャリア向けの携帯電話に対して SMS を送信することが可能となる Salesforce アプリケーションになります。
お使いの Salesforce 環境にインストールし、後述する幾つかの設定をして頂くことでご利用頂けます。

＊注意＊
・本アプリは「設定」→「機能設定」→「セールス」→「活動設定」にございます、「ユーザが複数取引先責任者を ToDo と行動に関連付けられるようにする」機能が有効の場合インストール頂けません。お客様の機能利用状況などに合わせてご相談を承ります。
・本アプリはアプリケーション「セールスコンソール」「サービスコンソール」といった Lightning 準拠のアプリでのみ動作致します。Classic では動作しないことをご了承下さい。

本製品でできること

- ◆ 特定のリード、取引先責任者の携帯電話に対して、個別に SMS を送信
- ◆ 選択したリード、取引先責任者の携帯電話に対して、一括に SMS を送信
- ◆ キャンペーンメンバーに一斉に SMS を送信
- ◆ 一括での SMS 本文については定形の送信内容をテンプレートとして管理して転記できます。また本文中に氏名、時刻などを差し込みして送信が可能です。

2. ご利用に向けての設定

ご利用に向けた設定には大きく分けて二つあり、「SMS 送信を可能とするための設定」と「ご利用頂く上での機能設定」に二種類となります。本製品ではメディア 4u との契約の上 SMS 送信を行うため、まずはこちらの設定をお願い致します。

① SMS 送信元番号の確認

SMS 送信元番号は、送信した SMS の実績に応じて課金される請求に紐づく番号です。
パッケージの初期値で使用しない場合は、メディア4u との契約にもとづいて番号を取得して設定する必要があります。不明な場合は、メディア4u に確認をお願いします。

② 外部 API の URL の登録

SMS 送信リクエスト、SMS 送達結果確認のために外部サイトの API を利用しています。
以下の手順で、外部サイトを組織に登録してください。

Copyright ©メディア 4u Inc.

■設定->セキュリティ->リモートサイトの設定

新規リモートサイトで、

リモートサイト名: SMSLastUpdateResultEP

リモートサイトの URL: https://www.sms-console.jp/



また、サイトにアクセスするための ID/PW をメディア4u より取得する必要があります。以下の手順で、カスタムメタデータに値を設定してください。値の取得についてはこちらメディア4u の問い合わせよりお願い致します。

■設定->カスタムコード->カスタムメタデータ型

すべてのカスタムメタデータ型より、「SMS 送信情報設定」の「レコードの管理」を選択します。「デフォルト設定」の編集画面にて、下記値を設定してください。

SMSBasic 認証ユーザー

SMSBasic 認証パスワード



Copyright ©メディア 4u Inc.





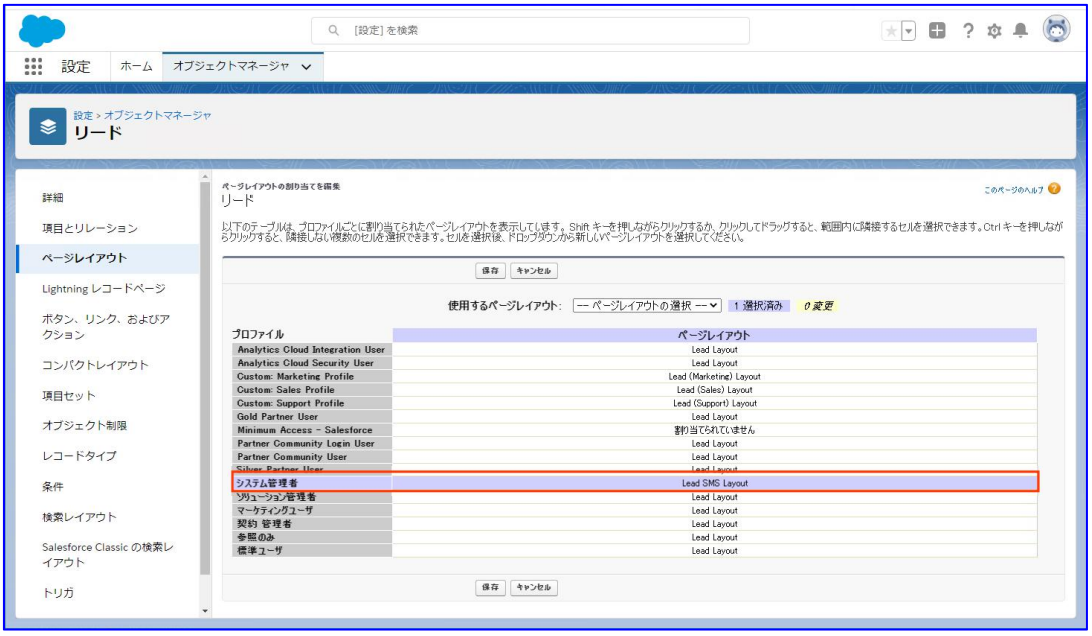
③ リード(個別送信)、取引先責任者(個別送信)、キャンペーン(一括送信)に、SMS 送信情報(オブジェクト)/リスト SMS 送信情報(オブジェクト)を作成・表示するためのレイアウトを設定

それぞれのオブジェクトのページレイアウトの「Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション」セクションにボタンを追加します。また「関連リスト」セクションにオブジェクトを追加します。ご利用のレイアウトの**カスタマイズ状況**に応じて設定してください。

・ページレイアウトを**カスタマイズしていない場合**は、本製品にて提供します SMS のレイアウトをページレイアウトとして割り当てしてください。

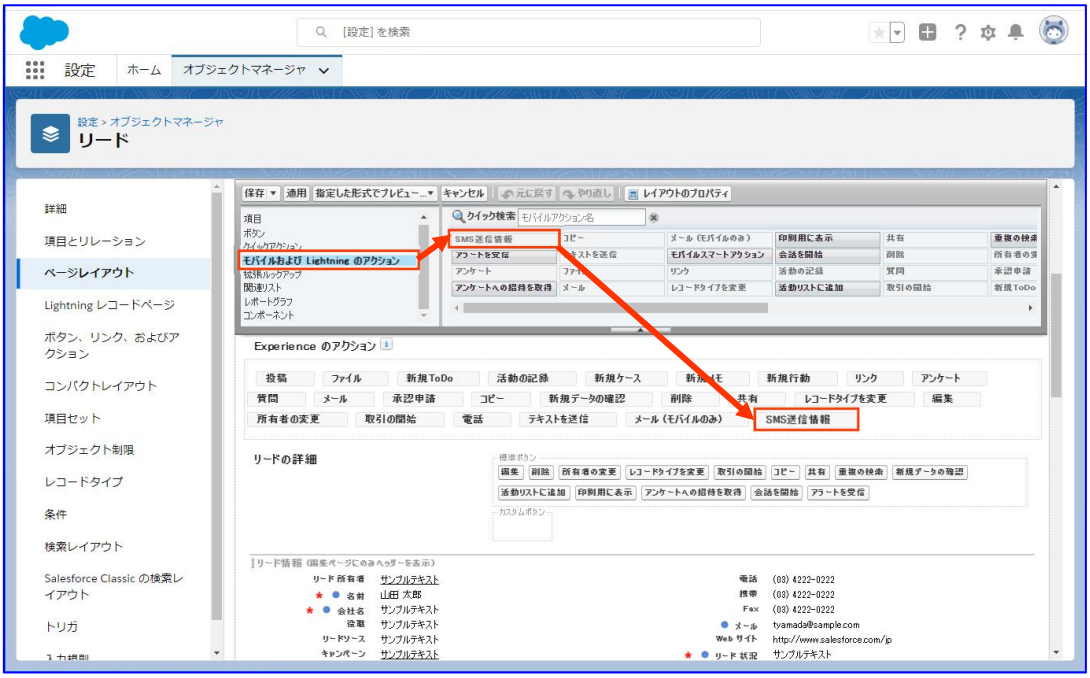
■設定->オブジェクトマネージャ->(設定を行いたいオブジェクト)->ページレイアウト->ページレイアウトの割り当て->割り当ての編集

SMS のレイアウトを表示したいプロファイルに設定した上で保存してください。

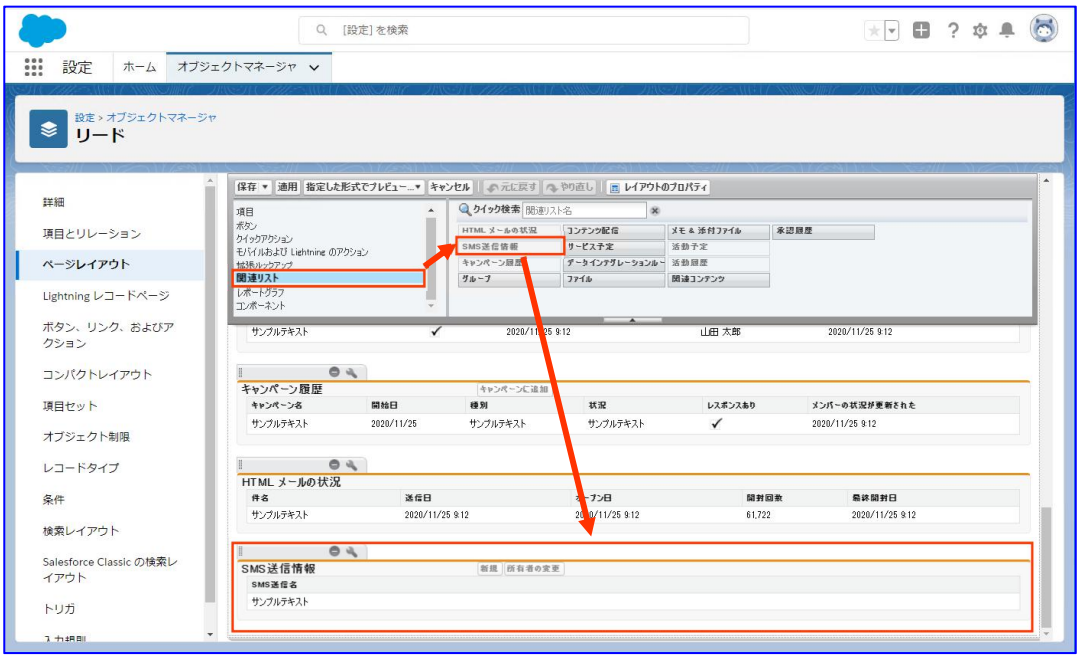


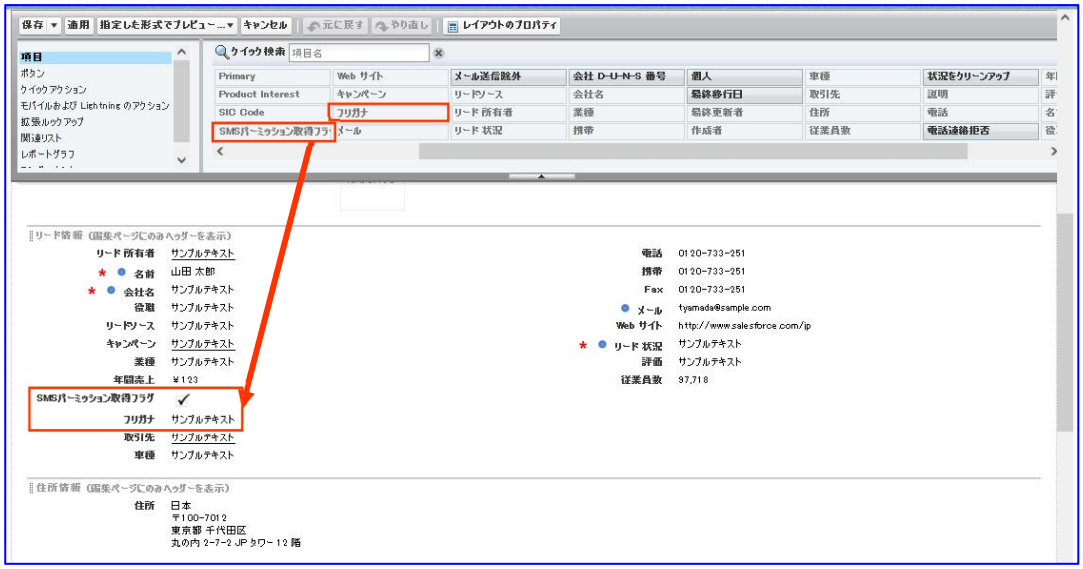
・ページレイアウトを**カスタマイズしている場合**は、SMS のレイアウトを参考にして、「SMS 送信情報」およびカスタム項目を手動で追加してください。

※キャンペーンメンバーに対する SMS 送信情報の作成は「リスト SMS 送信」としてインストール時点から表示されています。



Copyright ©メディア 4u Inc.



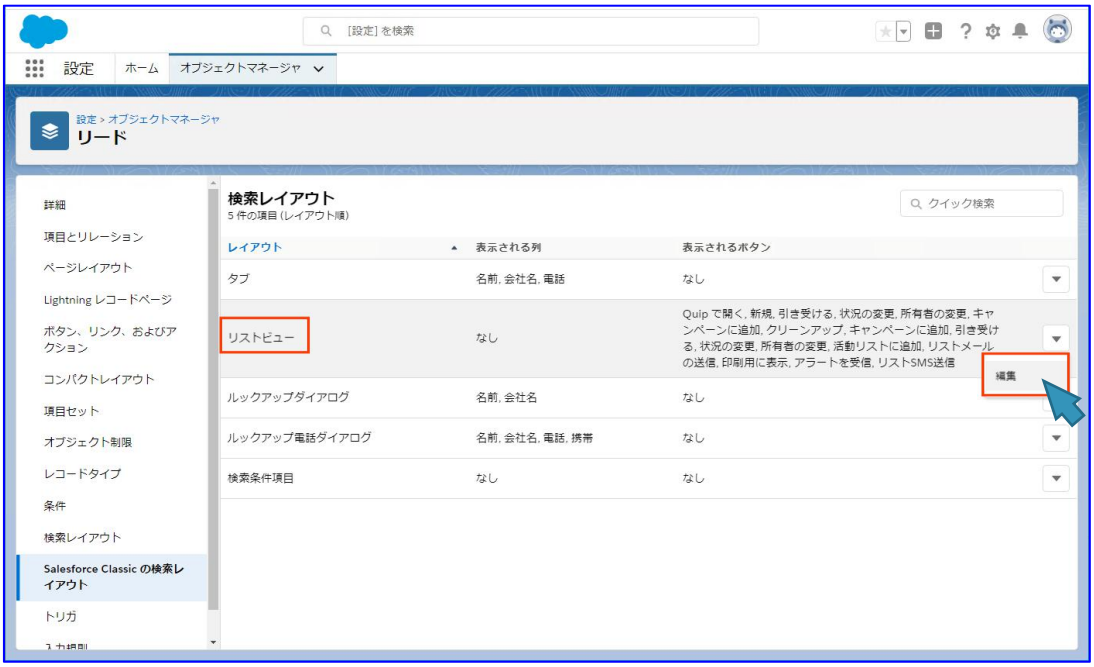


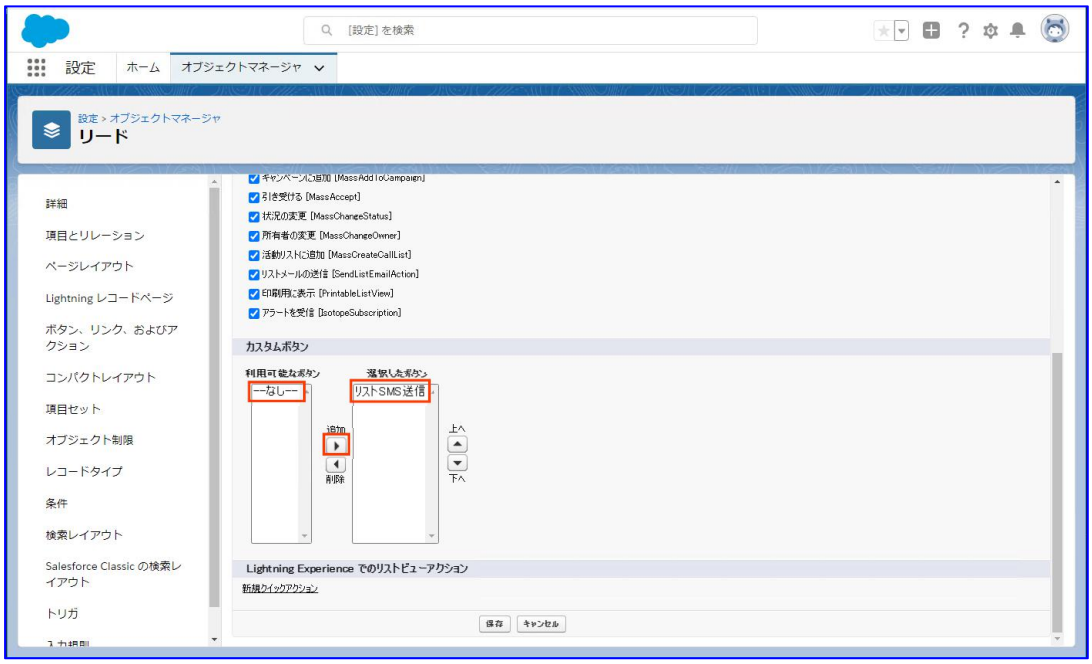
※「SMS パーミッションフラグ」と「フリガナ」を配置します。
画像の配置は一例となります。任意の場所に配置してください。

④ リード(一括送信)、取引先責任者(一括送信)を作成するための検索レイアウト設定
それぞれのオブジェクトの「検索レイアウト」の「カスタムボタン」にて、「リスト SMS 送信」を「選択したボタン」に追加してください。

Copyright ©メディア 4u Inc.

■設定->オブジェクトマネージャ->(設定を行いたいオブジェクト)->Salesforce Classic の検索レイアウト->リストビュー▼編集





⑤ SMS 送信する場合に承認を必要とする設定

SMS 送信情報(オブジェクト)のステータスが「承認済み」でないと送信できないように動作を設定します。また、承認プロセスを作成して、承認された場合にステータスを「下書き」から「承認済み」に変更するようにしてください。個別送信と一括送信それぞれに設定可能です。

Copyright ©メディア 4u Inc.

∴承認システム利用設定

■設定->カスタムコード->カスタムメタデータ型

すべてのカスタムメタデータ型より、「SMS 送信情報設定」の「レコードの管理」を選択します。「デフォルト設定」の編集画面にて、下記値に「1」を設定してください。

SMS 個別送信承認有効

SMS 一括送信承認有効

※デフォルト設定値は、承認システムを利用しない「0」となっていますので、利用されない場合はそのままとし以降「承認プロセス設定」の工程をスキップしてください。

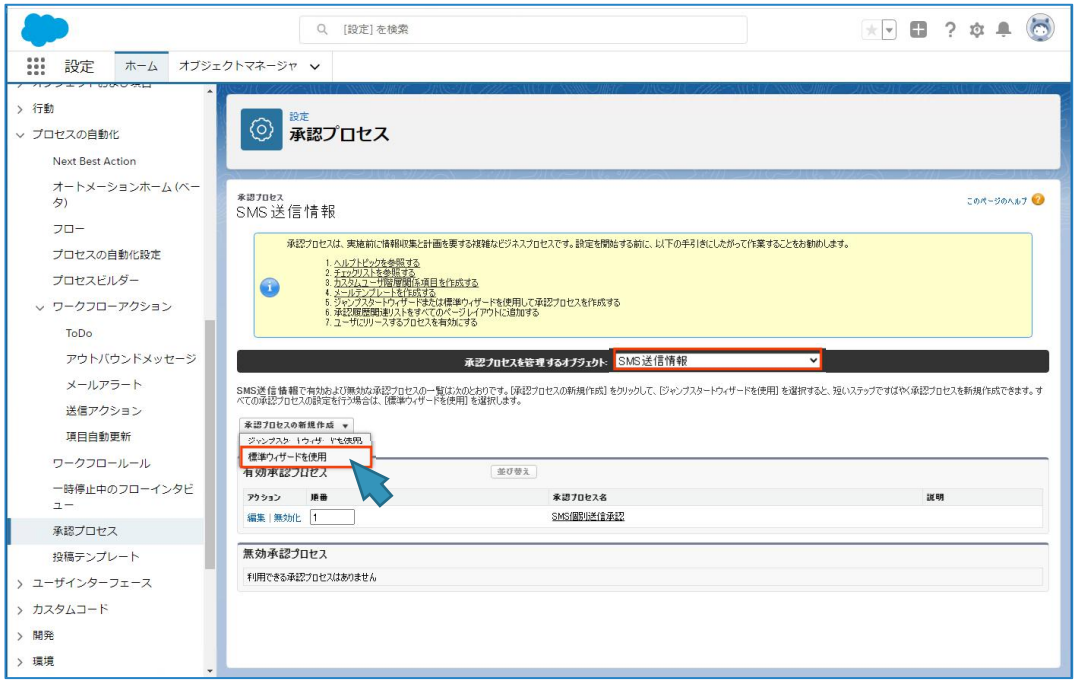
∴承認プロセス設定

■設定->プロセスの自動化->承認プロセス

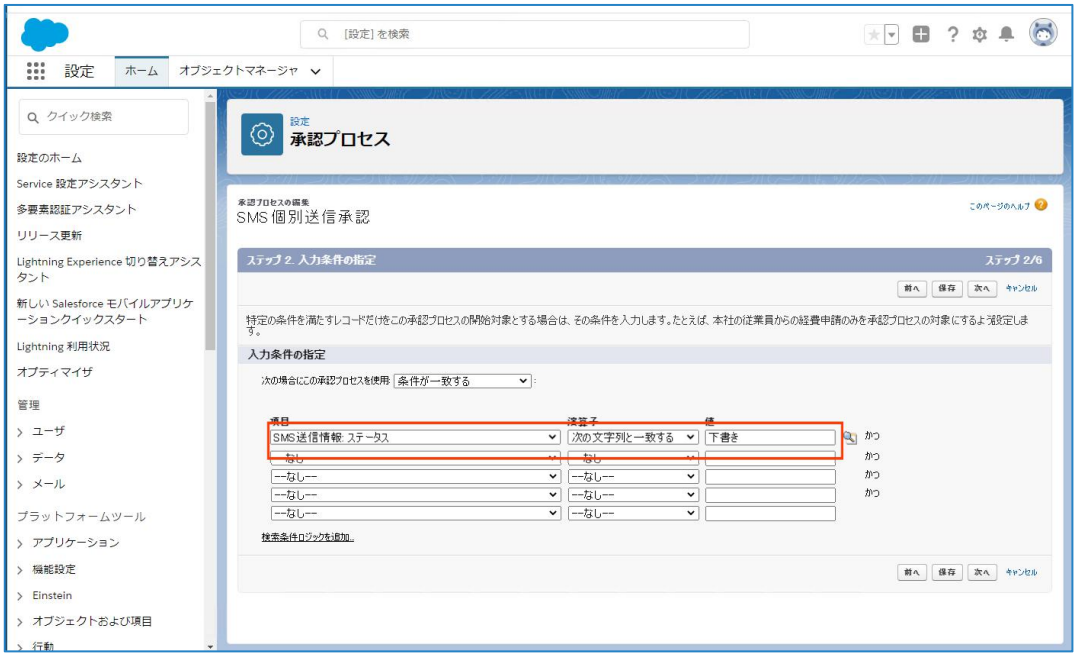
承認プロセスは個別送信と一括送信、それぞれのオブジェクトに対して同様に設定します。

承認プロセスを管理するオブジェクトから「SMS 送信情報」(個別送信)または「SMS リスト送信情報」を選択し、承認プロセスの新規作成▼標準ウィザードを使用から設定します。

※以降必須の設定について画面エビデンスをご確認ください。その他メールアラート設定等は任意となります。



- 開始条件「SMS 送信情報:ステータス」が「下書き」と一致する



- 承認ステップ 承認申請 割り当て先 関連ユーザ:承認申請先



Copyright ©メディア 4u Inc.

- 最終承認時のアクション 項目自動更新 承認結果 SMS 送信情報:ステータスを、特定値「承認済み」とする



承認プロセス設定後(※SMS リスト送信情報も同様になります。)

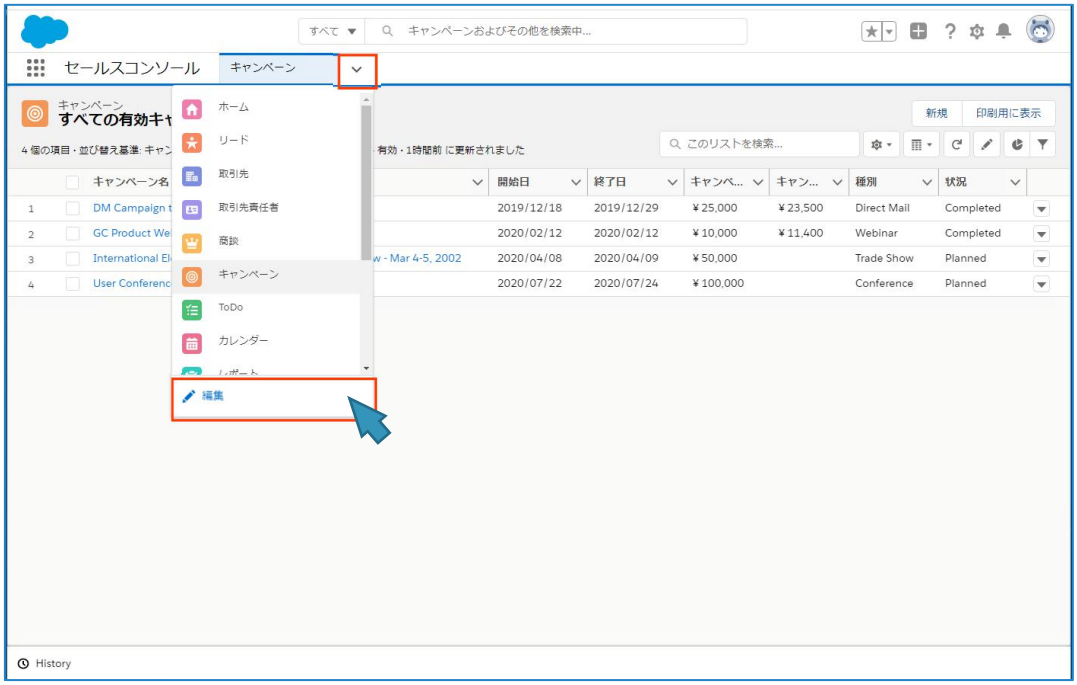




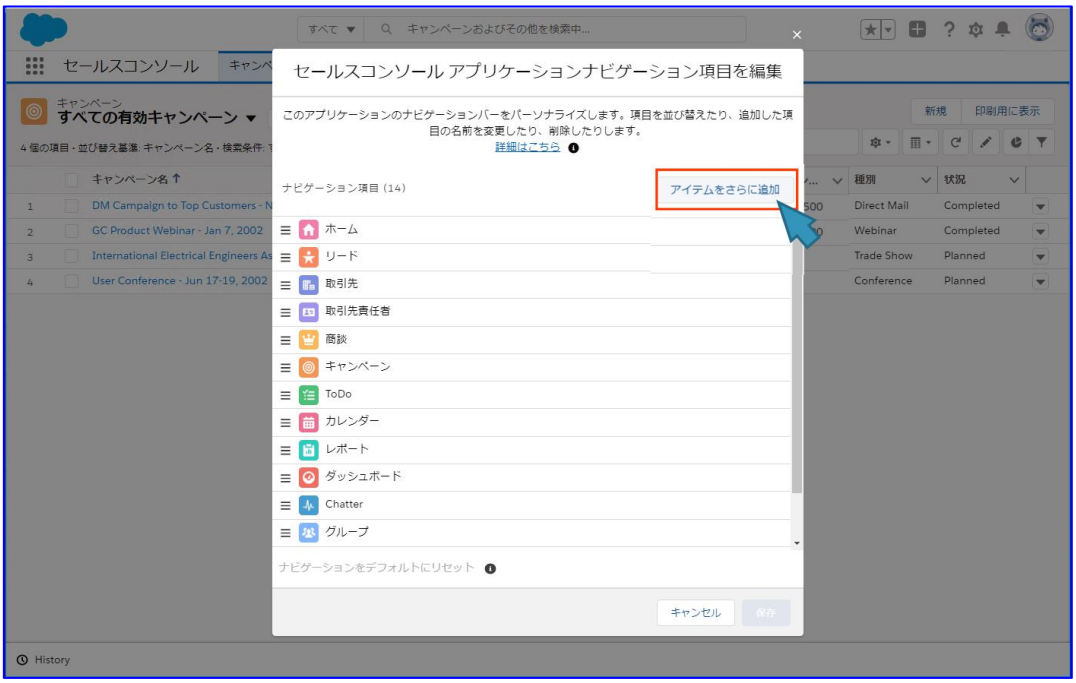
⑥ タブに SMS メッセージテンプレートのオブジェクトを追加設定

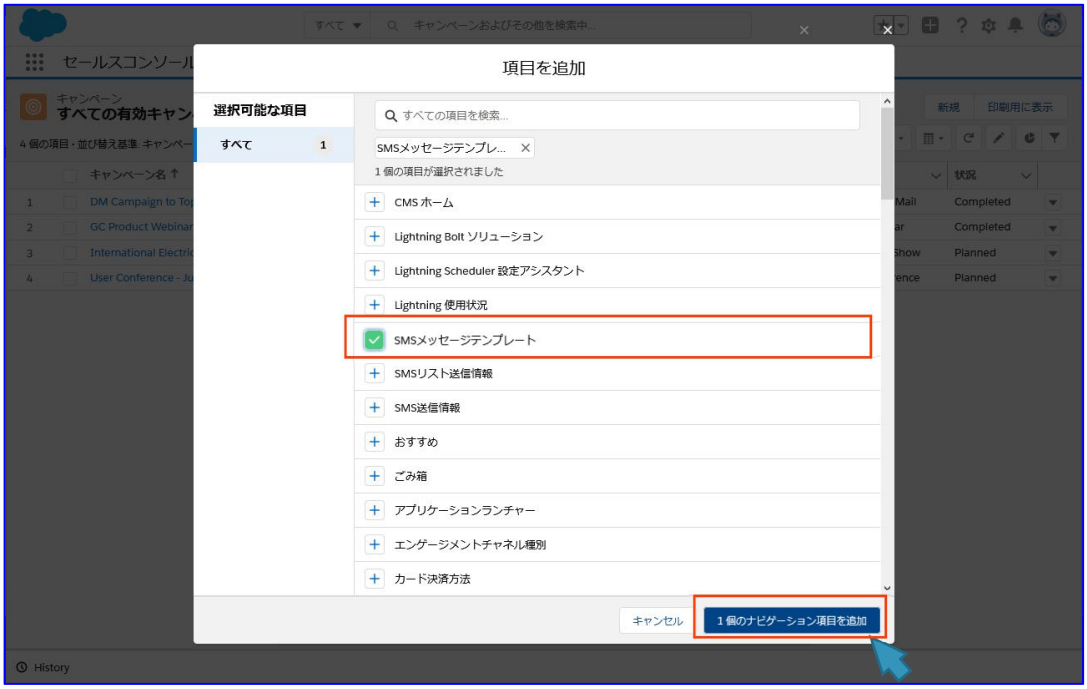
セールスコンソールなどのオブジェクト選択メニューの編集から「SMS メッセージテンプレート」追加してください。

※追加の際に、「SMS 送信情報」「SMS 一括送信情報」も選択できますが、タブからは直接オブジェクトを作成することはできないため、追加しないでください。



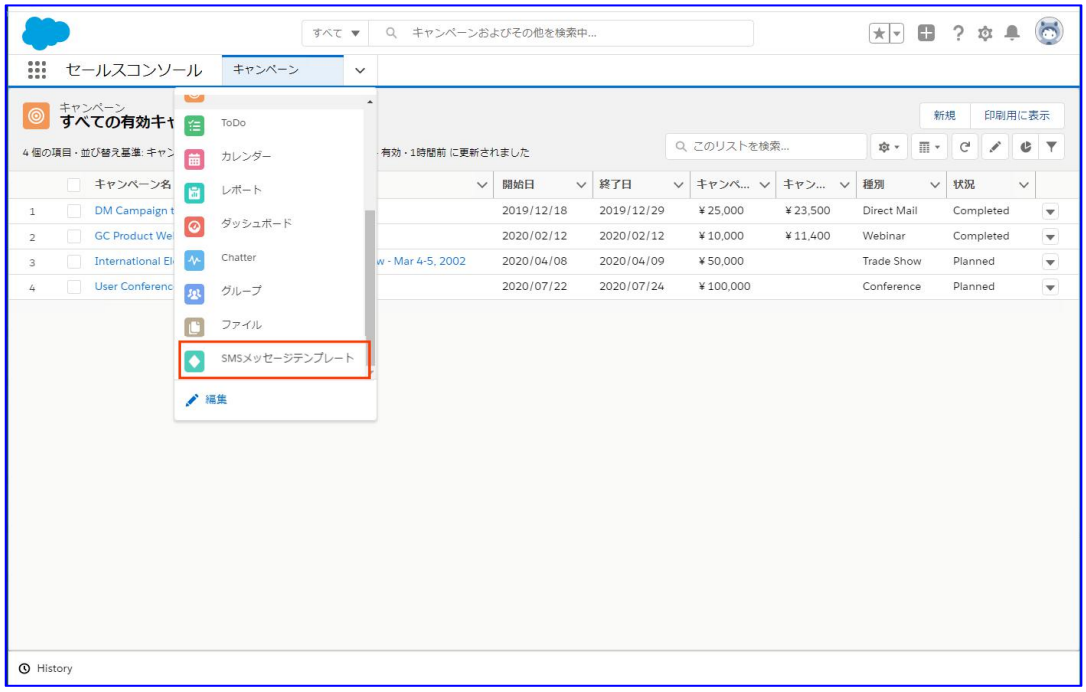
Copyright ©メディア 4u Inc.





Copyright ©メディア 4u Inc.

タグ設定後



⑦ SMS 送信結果受信バッチスケジュール設定

SMS 送信結果を最新とするための定期バッチを実行します。

開発コンソールの「Debug」「Open Execute Anonymous Window」で Enter Apex Code を開き、次ページの**バッチ登録コード**を入力して「Execute」を押してください。

設定後は以下より確認できます。

■設定->環境->ジョブ->スケジュール済みジョブ

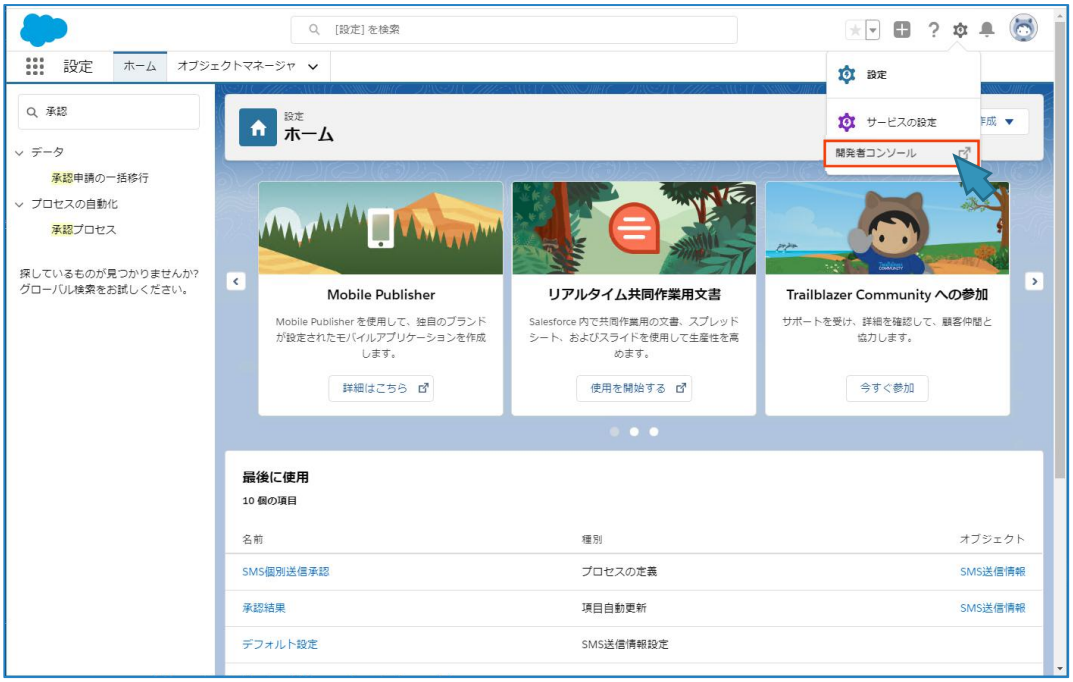
「SMS 送信最終結果更新バッチ〇〇」という名称でバッチが 5 分置きに設定されます。

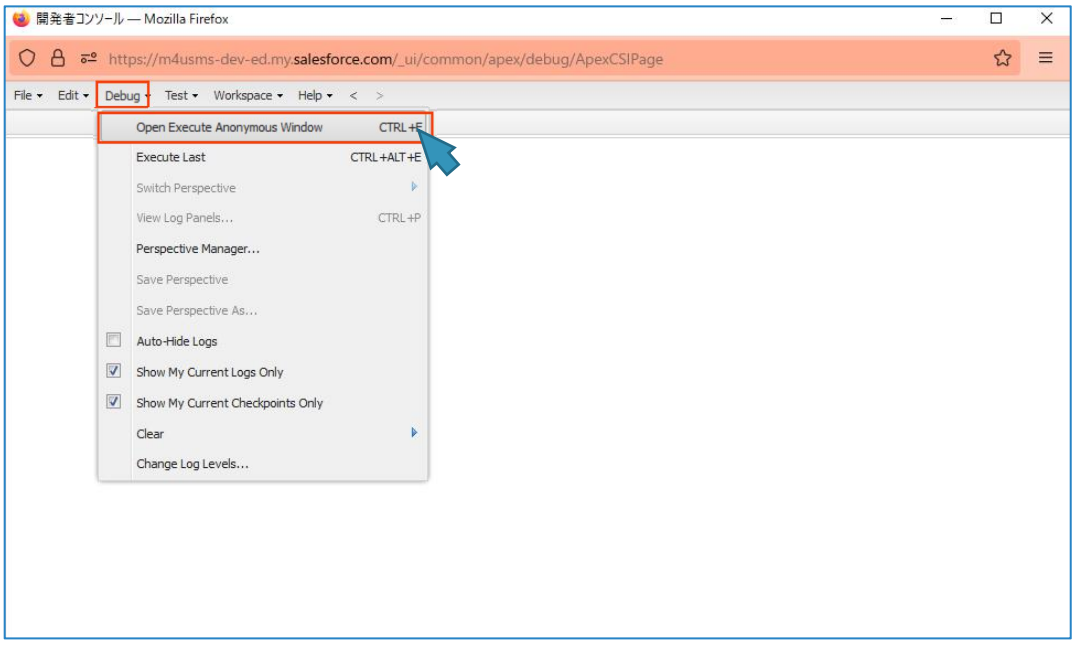
Copyright ©メディア 4u Inc.

バッチ登録コード

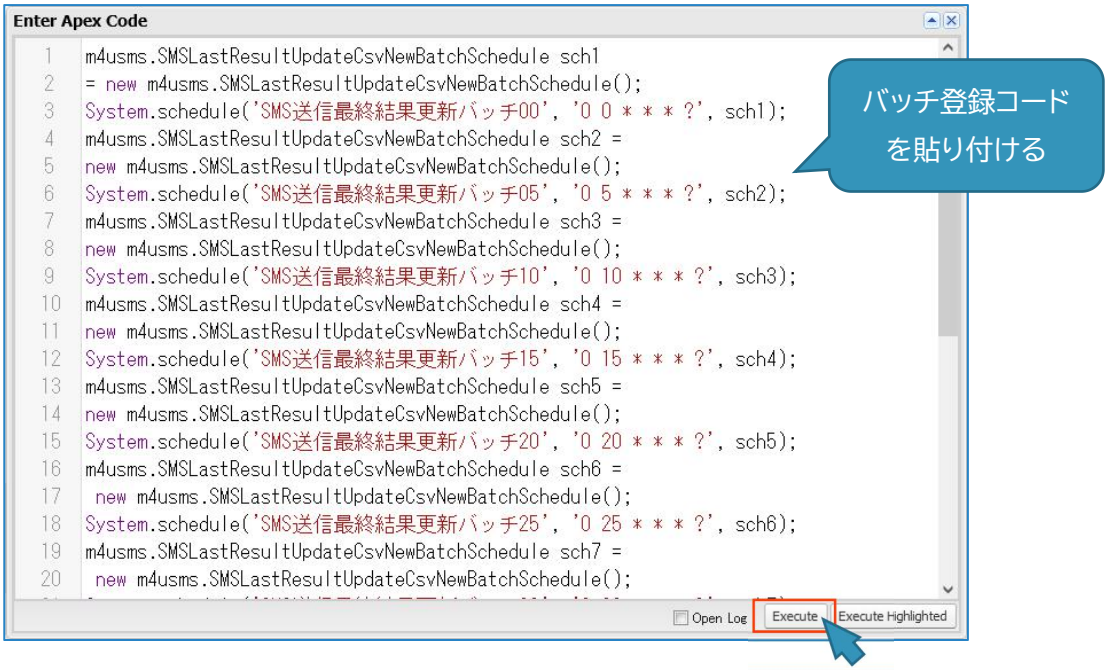
```
m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule sch1
= new m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule();
System.schedule('SMS 送信最終結果更新バッチ 00', '0 0 * * * ?', sch1);
m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule sch2 =
new m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule();
System.schedule('SMS 送信最終結果更新バッチ 05', '0 5 * * * ?', sch2);
m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule sch3 =
new m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule();
System.schedule('SMS 送信最終結果更新バッチ 10', '0 10 * * * ?', sch3);
m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule sch4 =
new m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule();
System.schedule('SMS 送信最終結果更新バッチ 15', '0 15 * * * ?', sch4);
m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule sch5 =
new m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule();
System.schedule('SMS 送信最終結果更新バッチ 20', '0 20 * * * ?', sch5);
m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule sch6 =
new m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule();
System.schedule('SMS 送信最終結果更新バッチ 25', '0 25 * * * ?', sch6);
m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule sch7 =
new m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule();
System.schedule('SMS 送信最終結果更新バッチ 30', '0 30 * * * ?', sch7);
m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule sch8 =
new m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule();
System.schedule('SMS 送信最終結果更新バッチ 35', '0 35 * * * ?', sch8);
m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule sch9 =
new m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule();
System.schedule('SMS 送信最終結果更新バッチ 40', '0 40 * * * ?', sch9);
m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule sch10 =
new m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule();
System.schedule('SMS 送信最終結果更新バッチ 45', '0 45 * * * ?', sch10);
m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule sch11 =
new m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule();
System.schedule('SMS 送信最終結果更新バッチ 50', '0 50 * * * ?', sch11);
m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule sch12 =
new m4usms.SMSLastResultUpdateCsvNewBatchSchedule();
System.schedule('SMS 送信最終結果更新バッチ 55', '0 55 * * * ?', sch12);
```

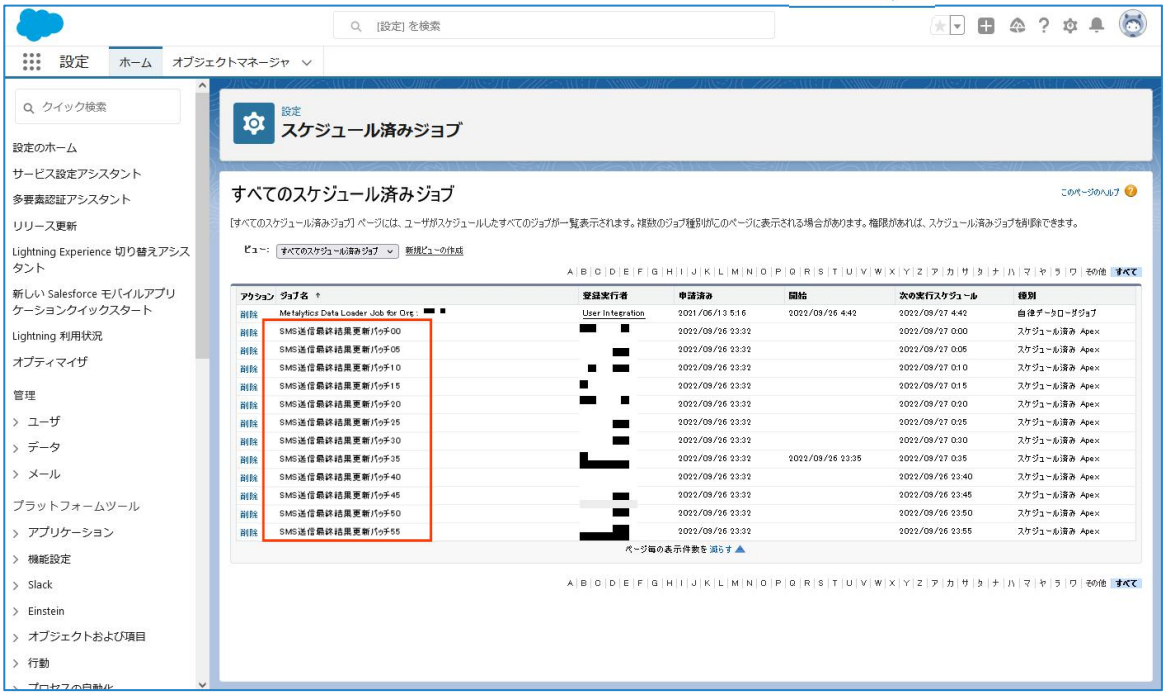
Copyright ©メディア 4u Inc.





Copyright ©メディア 4u Inc.





Copyright ©メディア 4u Inc.

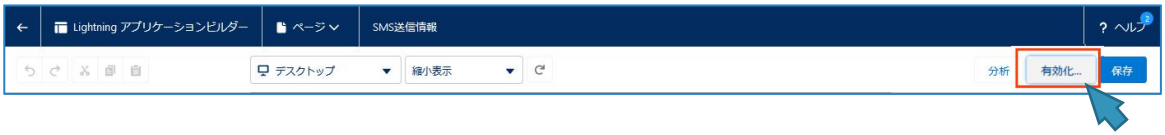
⑧ SMS 送信情報/SMS リスト送信情報オブジェクトのレコード詳細画面レイアウトの設定

主に個別/一括の SMS 送信情報作成後に表示されるレコード詳細画面のレイアウトを設定します。

■設定->ユーザインターフェース->Lightning アプリケーションビルダー



各「SMS 送信情報」「SMS 送信情報(一括)」リンクの左にあります「編集」リンクをクリックすると、Lightning アプリケーションビルダーが表示されます。画面右上の有効化ボタンより設定画面を開きます。



- 有効化:(レイアウト名)

「アプリケーション、レコードタイプ、およびプロファイルに割り当て」をクリックします。



Copyright ©メディア 4u Inc.

- アプリケーションを選択

コンソールのアプリケーションにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

※ご利用のアプリケーションが不明の場合は全てにチェックを入れてください。



- フォーム要素を選択

変更せずに「次へ」をクリックします。



Copyright ©メディア 4u Inc.

- レコードタイプの選択

設定を行っているレイアウトに合わせて該当項目にチェックをつけ、「次へ」をクリックします。

SMS送信情報　　-> 個別送信（画像例）

SMS送信情報(一括)　-> 一括送信



- 選択済みプロファイル

任意のプロファイルにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

※ご利用のプロファイルが不明の場合は全てにチェックを入れてください。



Copyright ©メディア 4u Inc.

- 割り当ての確認

最後に設定状態を確認します。問題なければ「保存」をクリックしてください。



※設定が終了しましたら、画面左上の矢印(戻る)ボタンより、設定画面へ戻ることができます。

Copyright ©メディア 4u Inc.

3. その他の設定

こちらはご利用前にご確認頂きたい設定と、任意で設定頂く内容になります。

① 各オブジェクト(リード、取引先責任者、キャンペーンメンバー)の設定

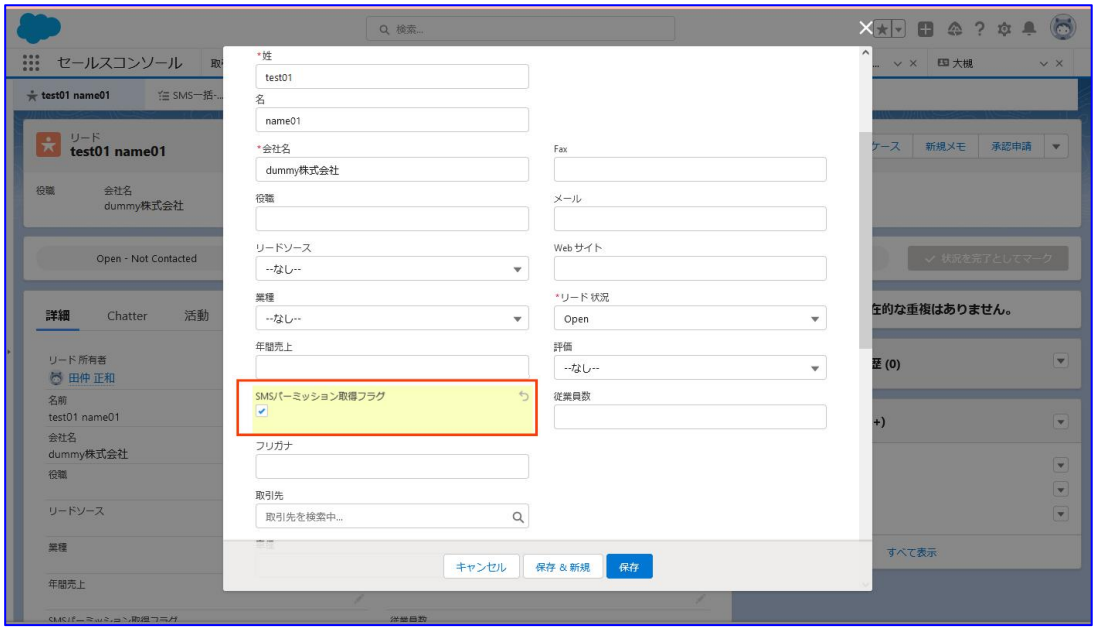
＊「SMS パーミッション取得フラグ」を設定

SMS パーミッション取得フラグとは SMS を送信しても問題無いかどうかを設定できるものです。本アプリ導入時はデフォルト値としてフラグがオフとなっています。そのため、SMS 送信をご利用になりたいリード・取引先責任者のレコードは、編集を行ってください。

＊SMS 送信先電話番号を設定

SMS を送信する宛先の電話番号には「携帯」項目を使用します。前述の「SMS パーミッション取得フラグ」が設定されていても、送信先電話番号が設定されていない場合、SMS 送信は行われません。
個別送信の場合は SMS 送信情報編集時に電話番号を設定できます。一括送信の場合は項目「携帯」を利用するため、特に一括送信をご利用になる場合はご確認下さい。

■(各オブジェクト一覧より編集を行いたいレコードを選択)->編集

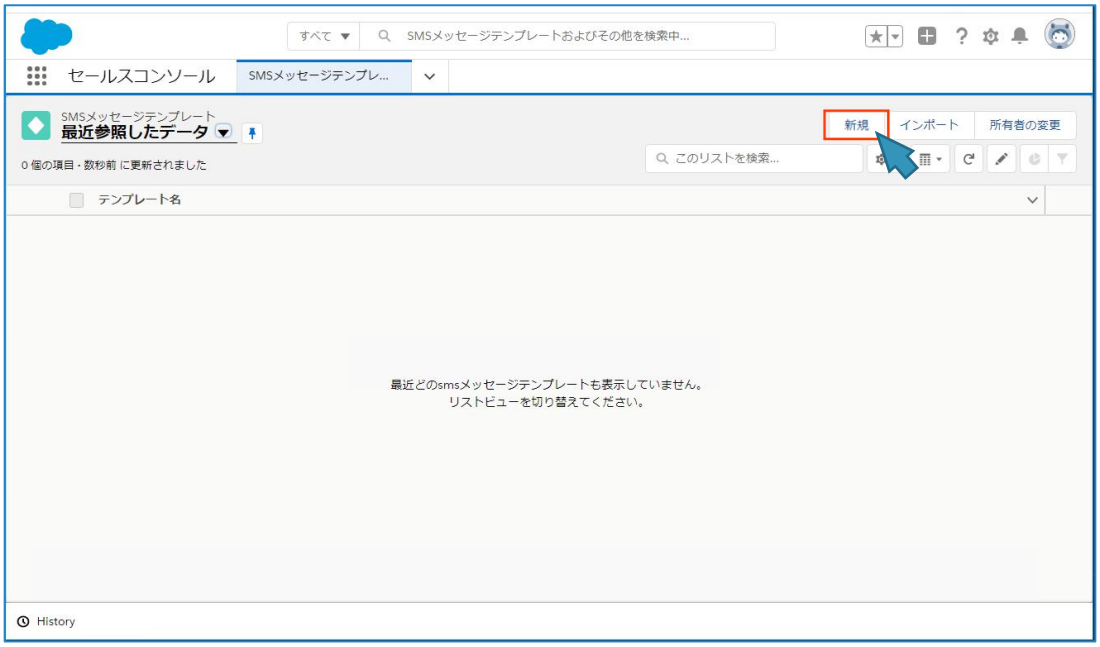


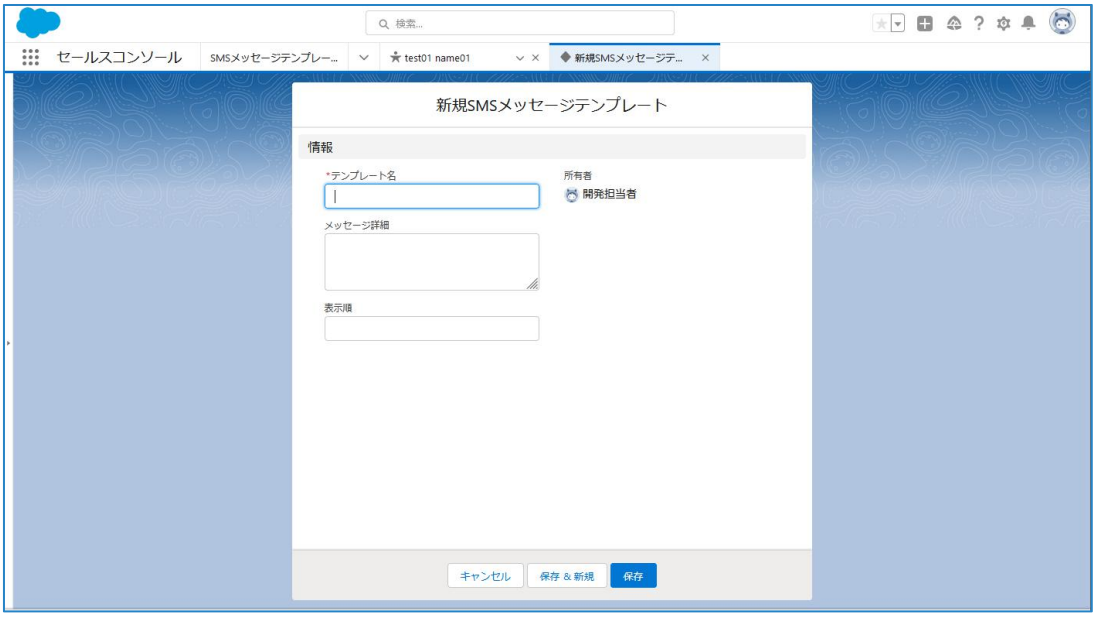
② SMS メッセージテンプレートの追加と編集

SMS 送信情報作成時に送信内容へメッセージテンプレートを挿入することができます。テンプレートの作成・編集方法は二種類あります。状況に合わせてご利用ください。

Copyright ©メディア 4u Inc.

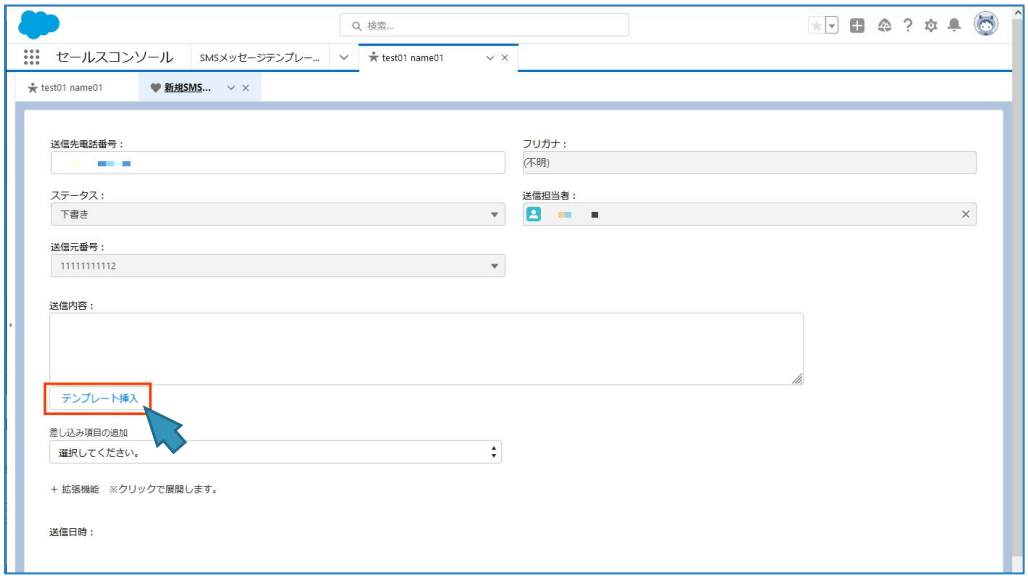
・「SMS メッセージテンプレート」のオブジェクトタブから直接行う。

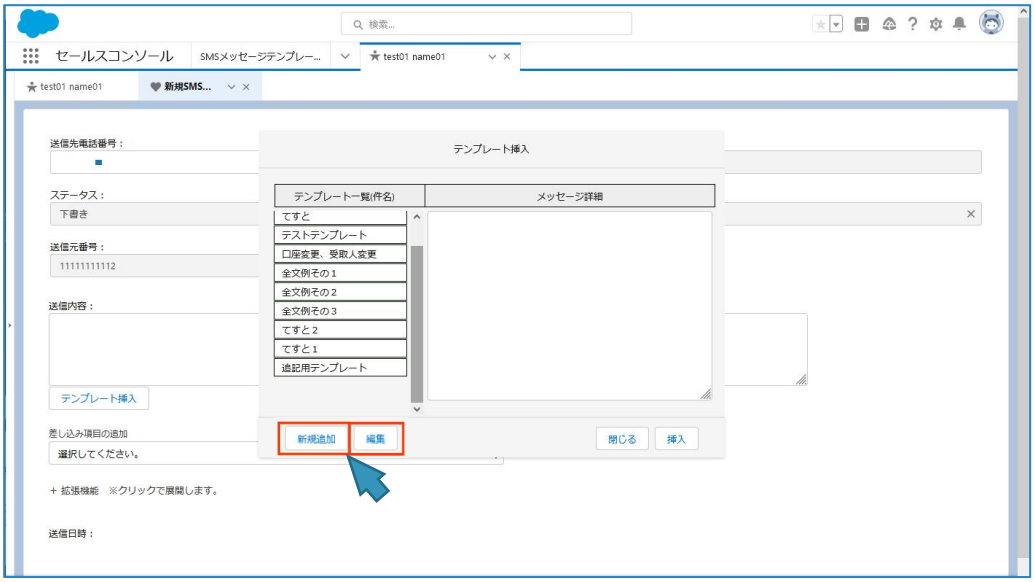




・SMS 送信情報もしくは SMS リスト送信情報を新規作成・編集画面にて、「テンプレート挿入」を行う際に行う。

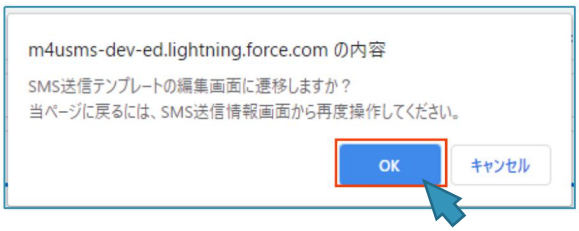
■SMS 送信情報/SMS リスト送信情報(新規作成もしくは編集)->テンプレート挿入



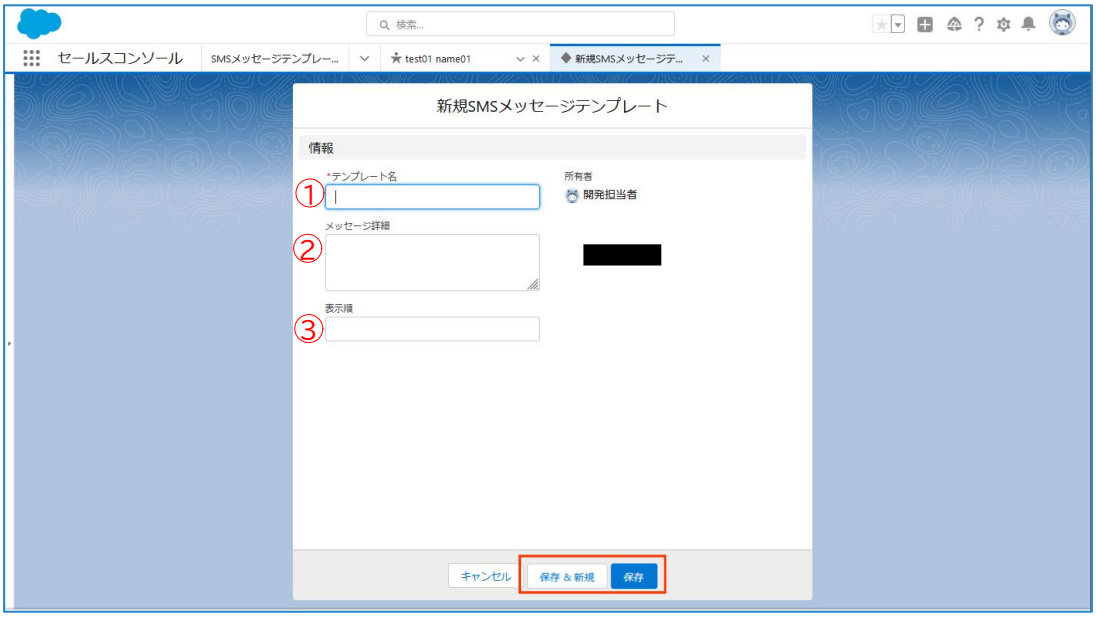


テンプレート挿入画面にて、新しくテンプレートを作成したい場合は「新規追加」ボタン、既存のテンプレートを編集したい場合はテンプレート一覧(件名)から編集したいテンプレートを選択した上で「編集」ボタンをそれぞれクリックします。
テンプレートの作成・編集を行うため、オブジェクトタブを開く必要があります。下記メッセージが出た場合は OK をクリックすることでテンプレートの編集画面が開かれます。

Copyright ©メディア 4u Inc.



＊SMS メッセージテンプレートオブジェクトについて



1. テンプレート名:テンプレート挿入画面にて一覧に表示される件名になります。
   ※ テンプレート名には「_」(アンダーバー)を使用することができませんのでご了承ください。
2. メッセージ詳細:SMS 送信内容に挿入される文面になります。
3. 表示順:テンプレート挿入画面での表示順になります。

登録したい内容を入力の上、保存ボタンもしくは保存＆新規ボタンをクリックして下さい。

Copyright ©メディア 4u Inc.

③ カスタムメタデータ型その他の設定

必須の設定以外にも幾つかカスタムメタデータ型にて設定可能な項目があります。



SMS 機能設定/バッチ設定

SMS 機能を利用頂く上で設定/確認する必要がある設定になります。

1. SMSBasic 認証ユーザー：ご利用に向けての設定:②にて使用します。
2. SMSBasic 認証パスワード：ご利用に向けての設定:②にて使用します。
3. SMS 個別送信承認有効：ご利用に向けての設定:⑤にて使用します。
4. SMS 一括送信承認有効：ご利用に向けての設定:⑤にて使用します。
5. 削除トリガ有効：SMS 送信情報や SMS リスト送信情報オブジェクトの削除が可能か不可能かを設定できます。デフォルト値は 1（有効）です。0（無効）を設定した場合、削除時に削除不可のメッセージが表示されます。
6. 差し込み項目：一括 SMS 送信情報を作成する際に送信内容へ差し込める項目を設定できます。デフォルトで 7 項目設定されています。この項目は自由に変更が可能です。

   設定の形式は、
   ”{{{Recipient.“ ＋（レコード名）＋ ”}}}:“ ＋（プルダウン表示名）

Copyright ©メディア 4u Inc.

※初期設定のうち、{URL}～{URL4}は拡張機能(短縮 URL)にて使用している値になります。削除されないようお願いします。
削除されてしまった場合は、本マニュアルの初期設定値を再設定して頂くことで再度ご利用になれます。

初期設定値

{{{Recipient.Name}}}:氏名
{{{Recipient.m4usms_furigana_c}}}:フリガナ
{{{Recipient.Email}}}:メール
{{{Recipient.Company}}}:会社名
{{{Recipient.Title}}}:役職
{{{!NOW}}}:現在時刻
{{{Recipient.MobilePhone}}}:SMS 送信先電話番号
{{{Recipient.Id}}}:Id
{URL}:URL
{URL2}:URL2
{URL3}:URL3
{URL4}:URL4

7. URL クリック結果取得期間月:何か月前までの送信 SMS について、URL の最新クリック結果を取得するか設定できます。最大設定値は 6 となります(6 ヶ月前の送信情報まで確認)。なお 6 以上を設定された場合でも仕様上最大値は 6 ヶ月となります。
   デフォルトで 3 を設定しています。
8. バッチ処理遅延間隔:送信された SMS メッセージを送信確認の対象に含めるまでの送信後時間(遅延間隔)を 15 分と 30 分から設定できます。
   デフォルトで 15 を設定しています。
   例)15 の場合
   送信15分後までは送信後確認バッチが実行されても確認の対象外とする。
   ※正しい送信結果を受信する為、結果を戻すまでに最低 15 分必要とします。ご了承ください。
9. 送信元番号:SMS 送信情報や SMS リスト送信情報の作成・編集時に、「送信元番号」で表示される値です。

Copyright ©メディア 4u Inc.

サブ機能 ToDo 関連設定

「＊活動の登録について：設定」にて使用される設定です。お使いの環境に合わせて設定してください。

1. ToDo ステータス_開始：ToDo の「状況」にて、活動の開始として使用しているステータスの『値』を設定してください。
2. ToDo ステータス_完了：ToDo の「状況」にて、活動の完了として使用しているステータスの『値』を設定してください。



ToDo の状況 選択リスト値

新規 | 並び替え | 置換 | 印刷用に表示 | グラフの色

アクション	値	API 参照名	完了フラグ	デフォルト	グラフの色
編集 | 無効化	Not Started	Not Started	☐	✓	動的に割り当て済み
編集 | 削除 | 無効化	In Progress	In Progress	☐	☐	動的に割り当て済み
編集 | 削除 | 無効化	Completed	Completed	✓	☐	動的に割り当て済み
編集 | 削除 | 無効化	Waiting on someone else	Waiting on someone else	☐	☐	動的に割り当て済み
編集 | 削除 | 無効化	Deferred	Deferred	☐	☐	動的に割り当て済み

例）Salesforce 組織の初期設定値

ToDo ステータス_開始･･･ Not Started

ToDo ステータス_完了･･･ Completed

※システム設定のため、変更しないでください

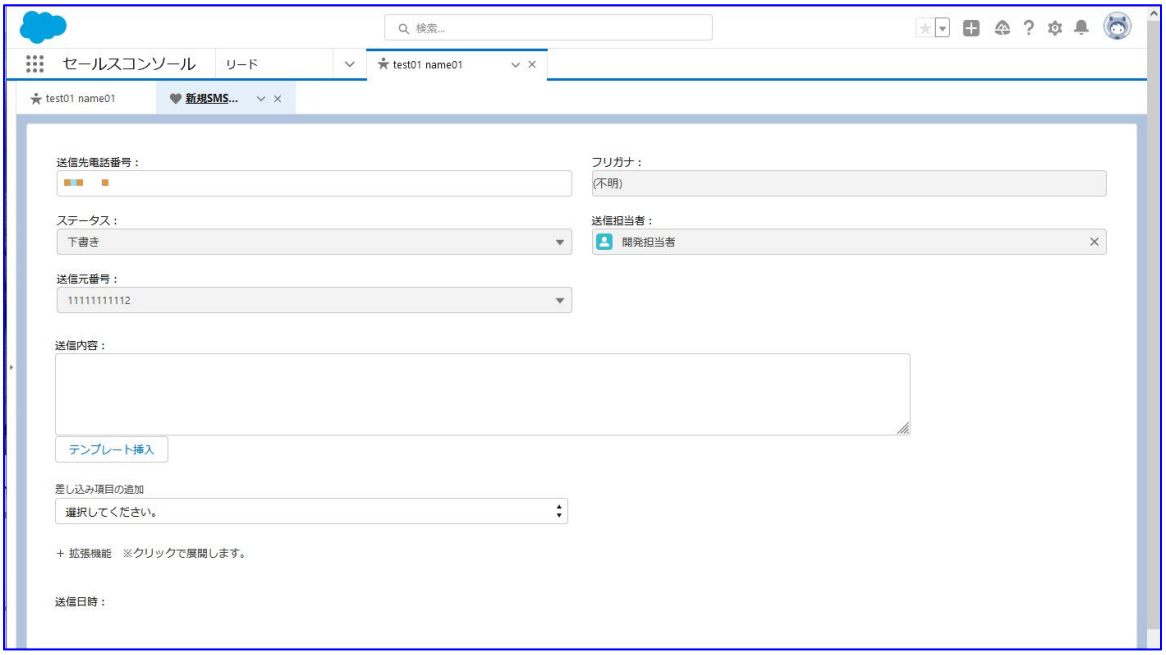
システム設定となるため、このセクションの内容は編集しないでください。

Copyright ©メディア 4u Inc.

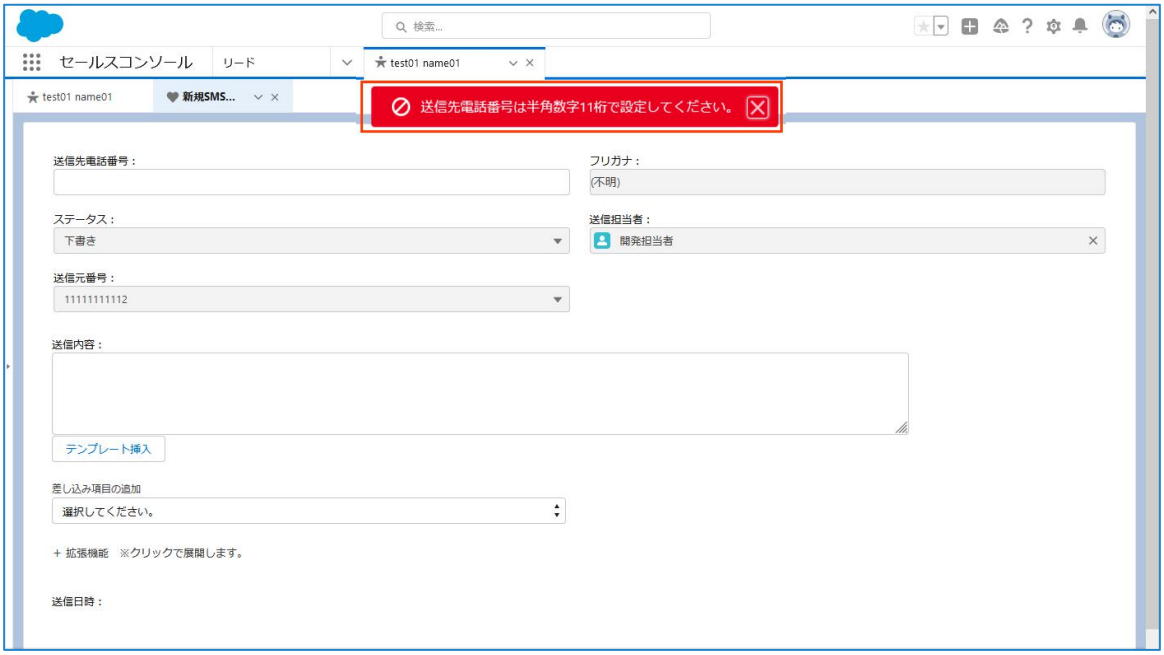
4. 実際のご利用例

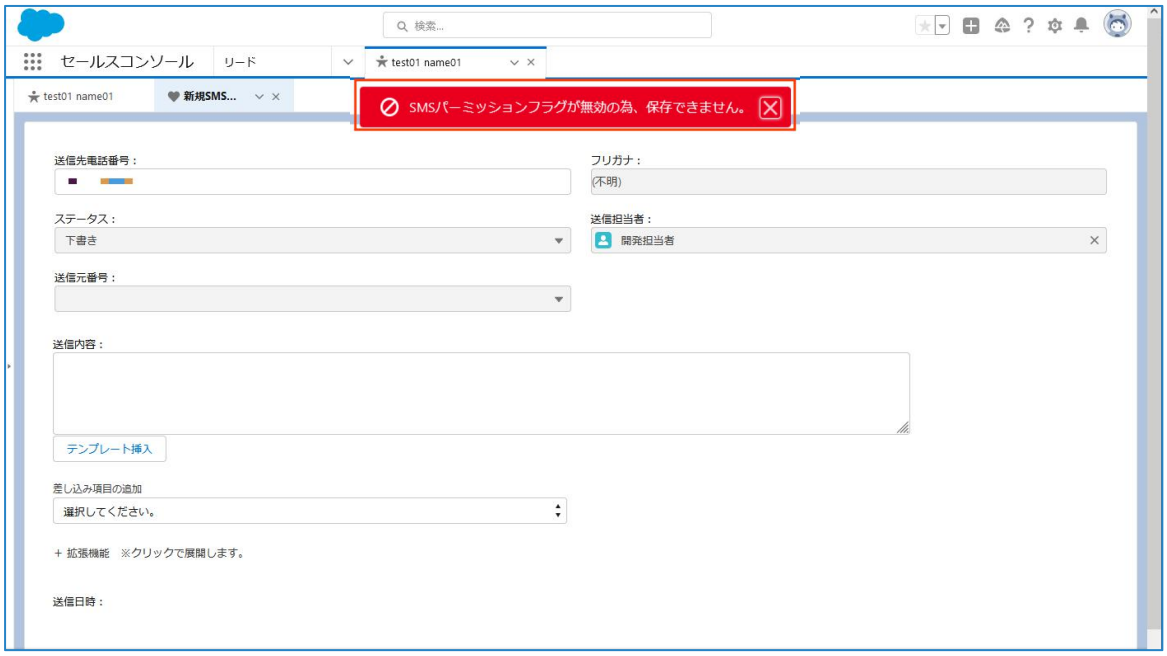
・個別送信は、「リード」もしくは「取引先責任者」のレコードページから「SMS 送信情報」を選択することでご利用頂けます。





「送信先電話番号」と「送信内容」を必ず設定した上で保存を行います。



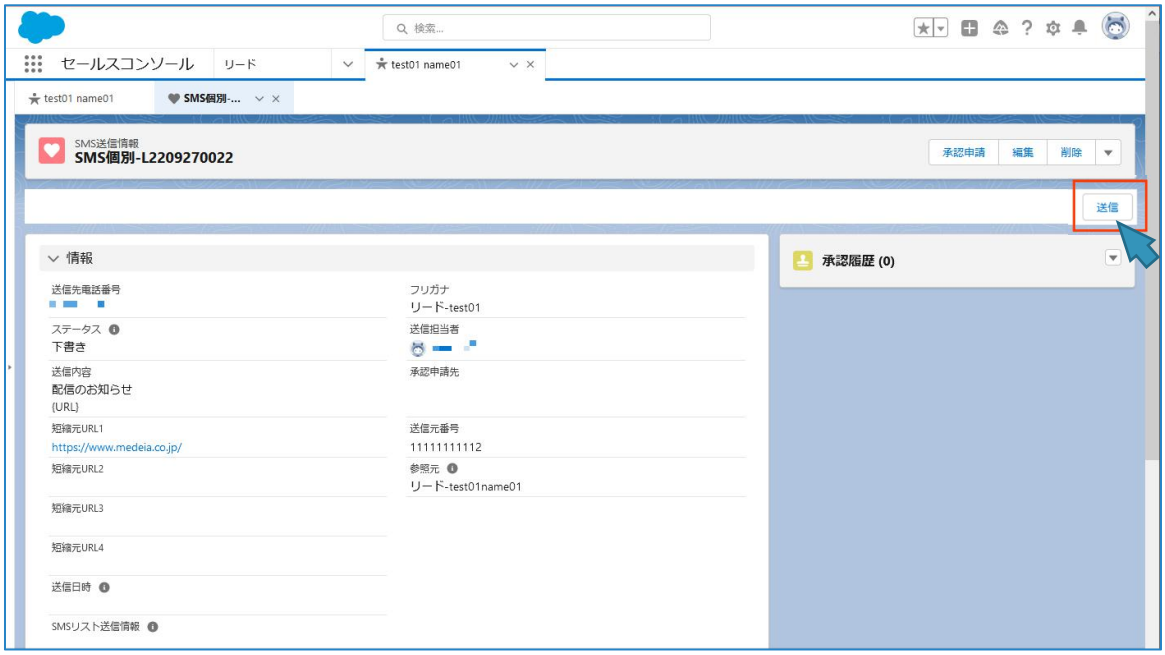


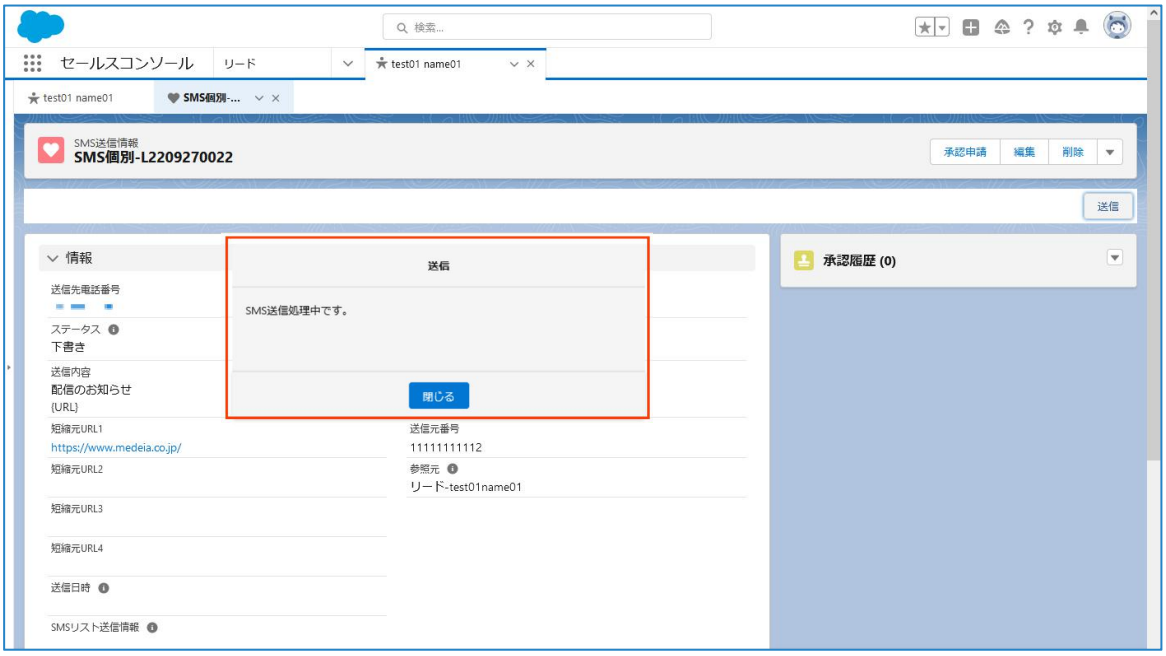
➡確認

送信先電話番号が未記入/正しい桁数でない、または対象リード・取引先責任者の SMS パーミッションフラグが無効になっている場合はエラーメッセージが表示され、編集内容の保存ができませんのでご注意ください。

Copyright ©メディア 4u Inc.

保存後、詳細画面に遷移します。送信する際に「送信」ボタンをクリックします。

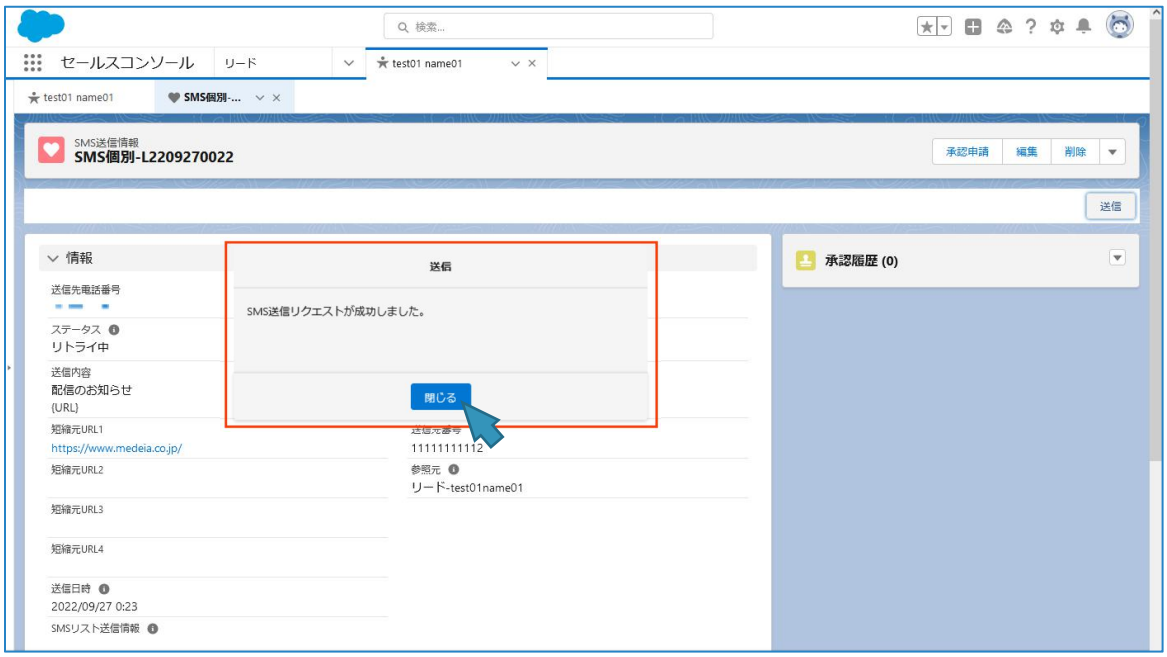


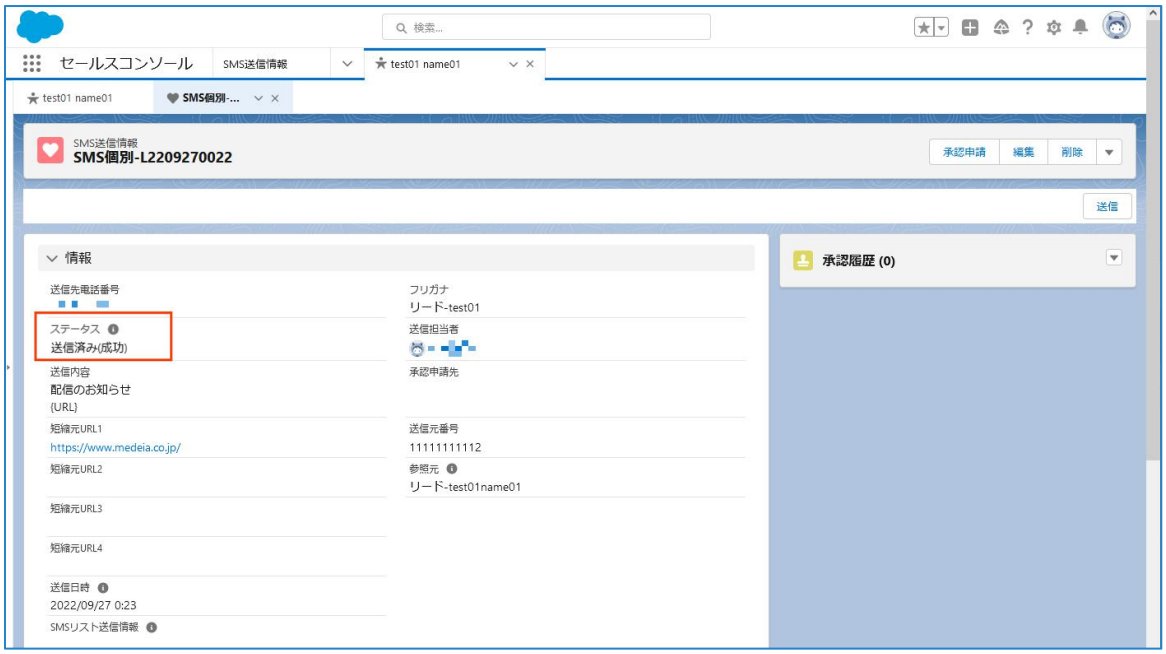


個別送信は「送信」ボタンをクリック後にサーバーへ送信リクエスト処理を行います。

メッセージが「SMS 送信リクエストが成功しました。」に変化しましたら送信処理は完了です。「閉じる」ボタンをクリックし、メッセージを閉じてください。

Copyright ©メディア 4u Inc.



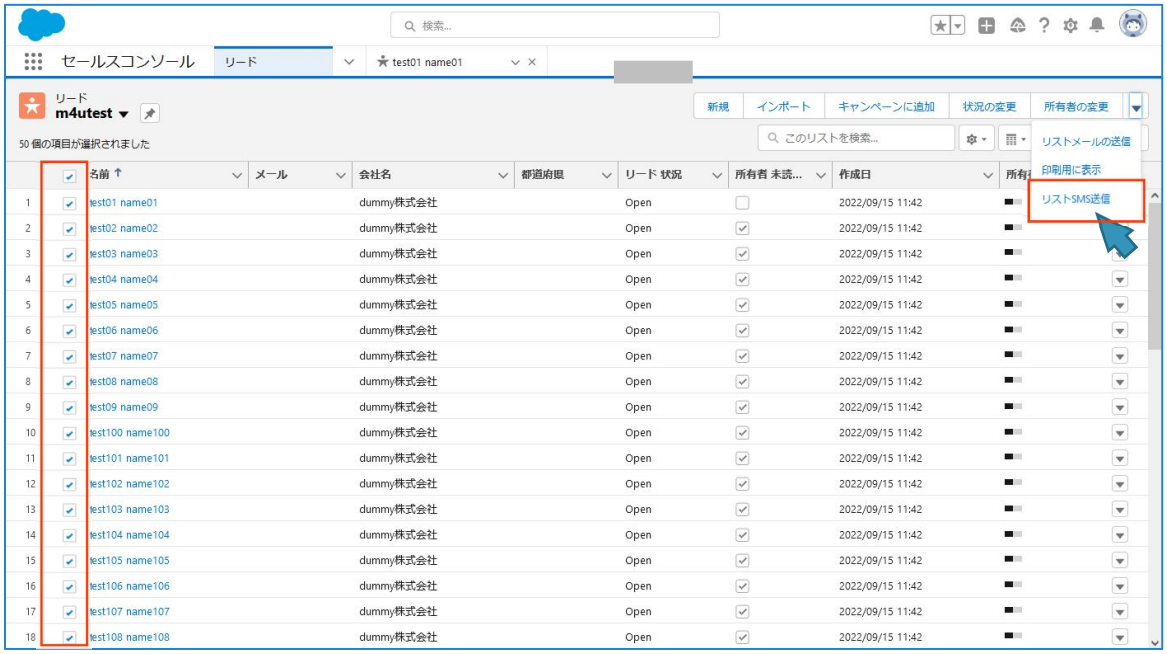


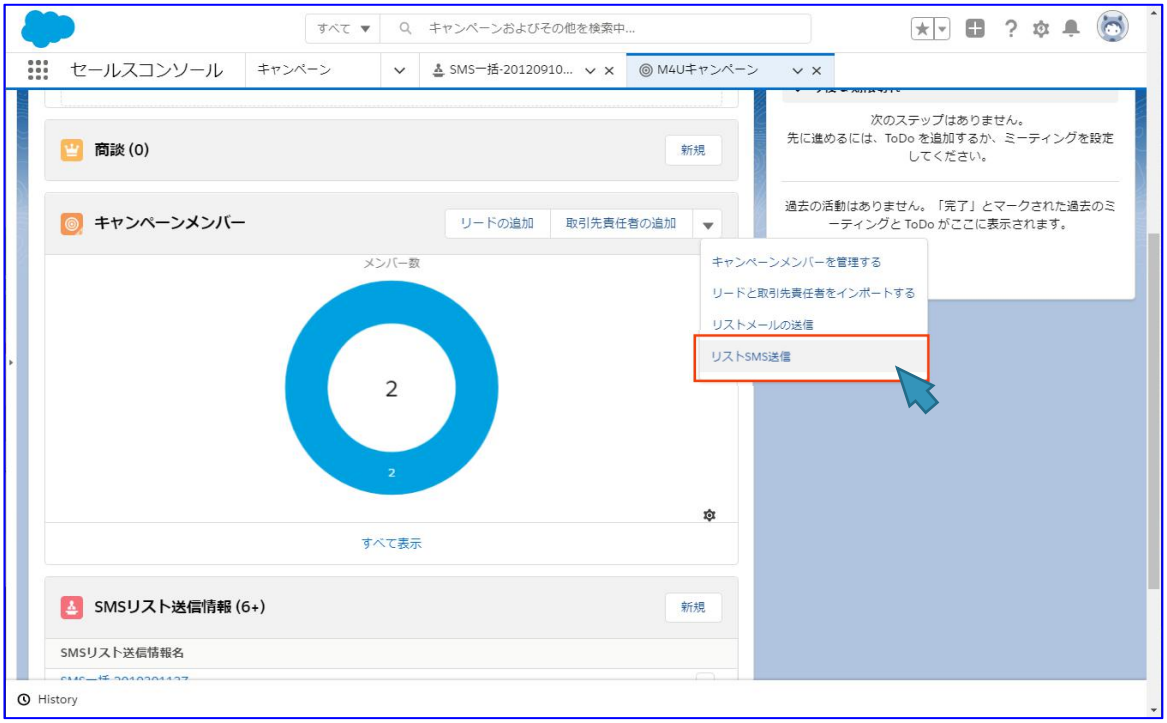
送信直後の「ステータス」は「リトライ中」となります。
事前にスケジュールしたバッチによって送信可否を確認し、ステータスが更新されます。
送信済み（成功） -> 送信に成功しました。
送信済み（失敗） -> 携帯電源が OFF、通信状況などによって送信に失敗しました。

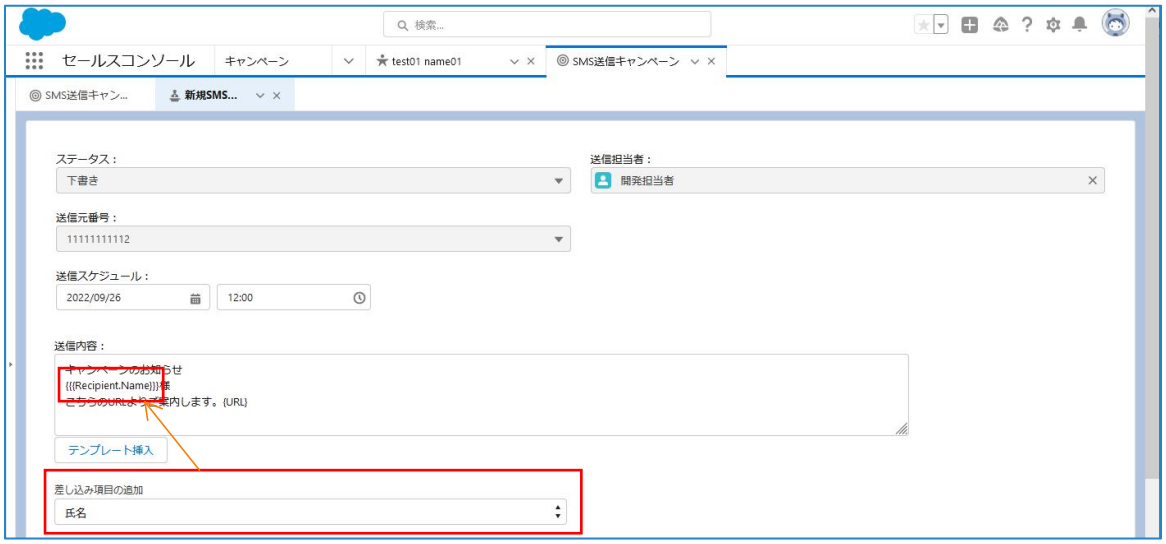
※「SMS 送信処理中です。」のメッセージが出たままとなってしまう場合は、SMS 送信が可能な状態になっていない可能性があります。再度設定をご確認ください。
（ご利用に向けての設定 ①～③）

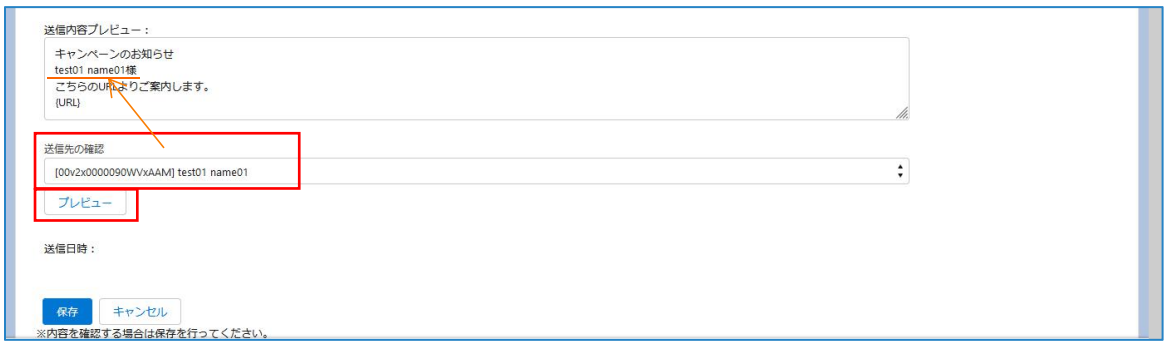
Copyright ©メディア 4u Inc.

・一括送信は、「リード」もしくは「取引先責任者」のリストビューから「リスト SMS 送信」を選択することでご利用頂けます。または「キャンペーン」ページのキャンペーンメンバーオブジェクトからも可能です。







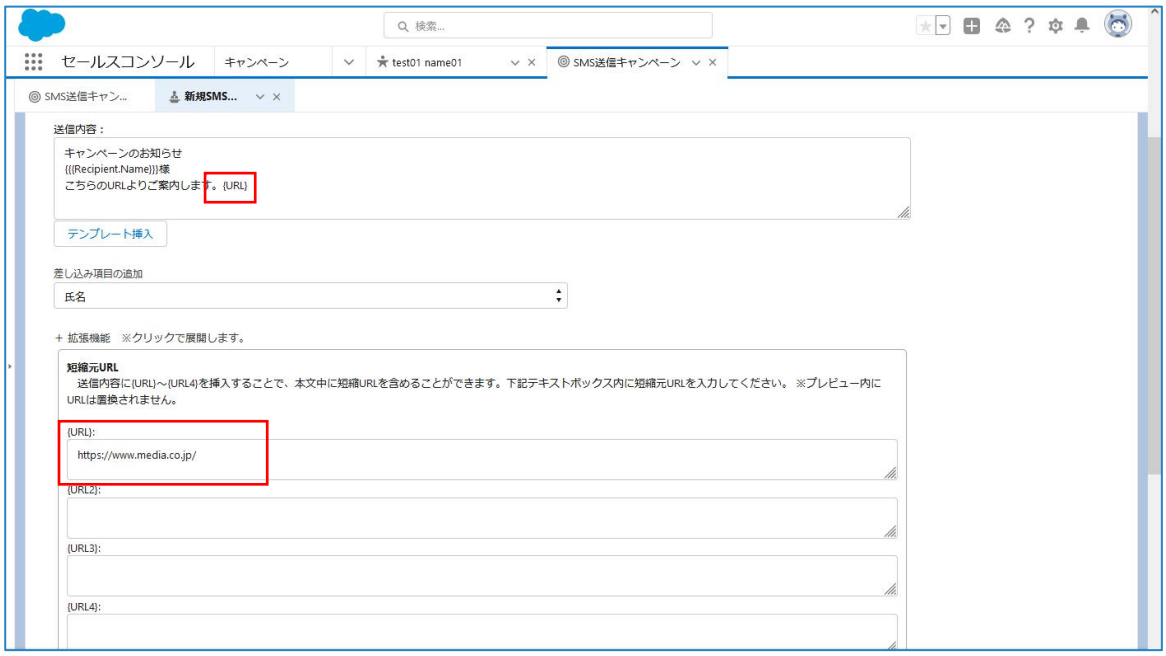


一括送信では送信内容に項目を差し込むことができます。「差し込み項目の追加」から項目を選択することで送信内容に「各送信先のユーザに関する情報」が反映されます。(例:名前、会社名など)
送信内容プレビューにて「送信先の確認」プルダウンから送信先を選択し、「プレビュー」ボタンをクリックすると、差し込み項目が反映された状態の送信内容をご確認頂けます。

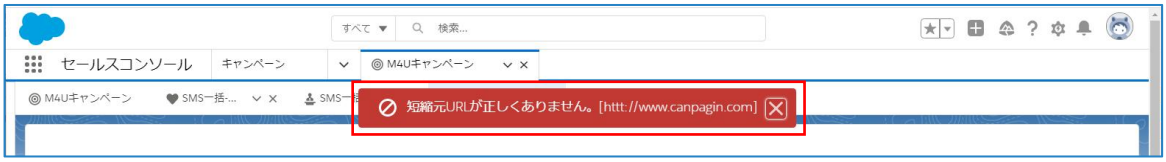
Copyright ©メディア 4u Inc.

＊短縮 URL

送信内容に最大4つの短縮 URL を含めることができます。編集画面にて、「＋ 拡張機能」をクリック頂くと短縮元 URL を入力する項目欄が表示されます。各欄に送信したい URL を入力の上、送信内容には該当のタグ（{URL}～{URL4}）を入力してください。（差し込み項目リスト内に各タグ値がございます。）



SMS 送信後、自動的にタグが短縮 URL に置換されます。
（※アプリ上のプレビューには表示されません。）



確認➡

短縮元 URL の形式が正しく入力されていない場合、上記画像のようにメッセージが表示され、SMS 送信情報が保存されません。メッセージの内容をご確認頂き、URL に誤りがないか再度確認してください。

Copyright ©メディア 4u Inc.



保存後 SMS リスト送信情報が作られ、同時に紐づく SMS 送信情報も作成されます。SMS 送信情報オブジェクトでは差し込み項目が反映された後の送信内容が確認頂けます。内容に問題が無いか確認後に送信を行ってください。

確認➡

・SMS 送信リスト情報にて個別の内容を確認ください。差し込み項目が設定されている場合、送信内容は自動的に置換されますが置換されていない場合は一度置換データをマニュアル記載の初期値で上書き設定してください。カスタマイズされた場合は値を再度ご確認下さい。(③カスタムメタデータ型その他の設定の 7)

「送信」ボタンをクリック後にサーバーへ送信リクエスト処理を行います。
メッセージが「SMS 送信予約に成功しました。」に変化しましたら送信処理は完了です。

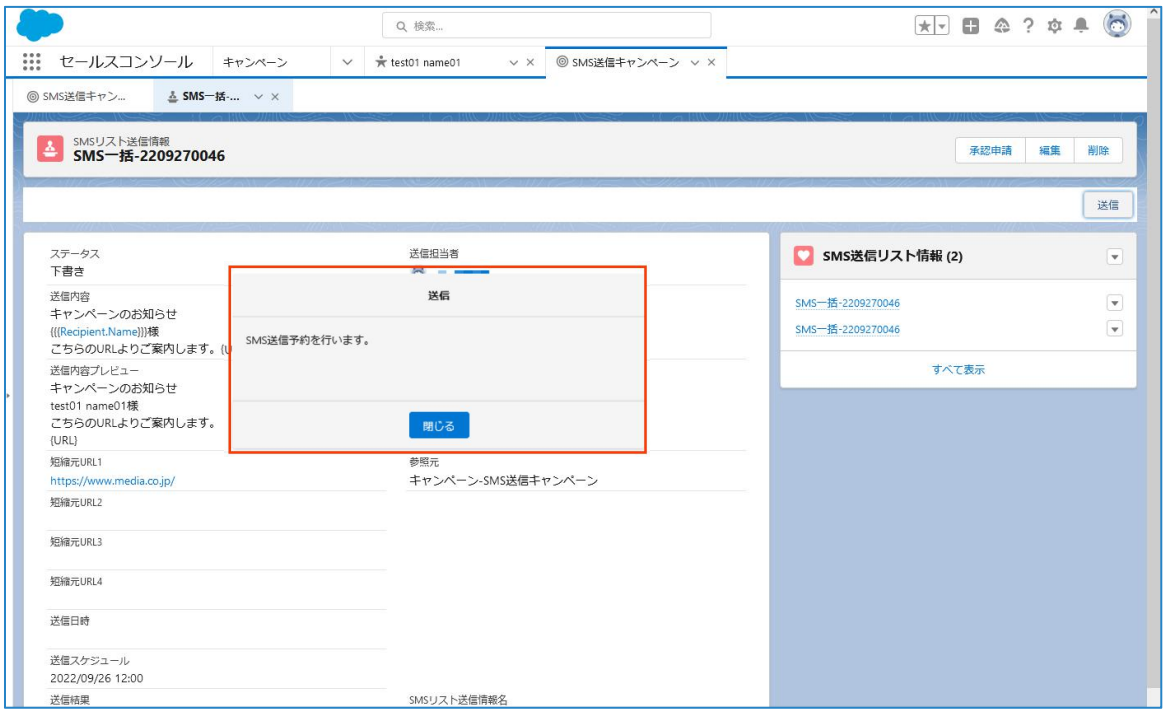
確認➡

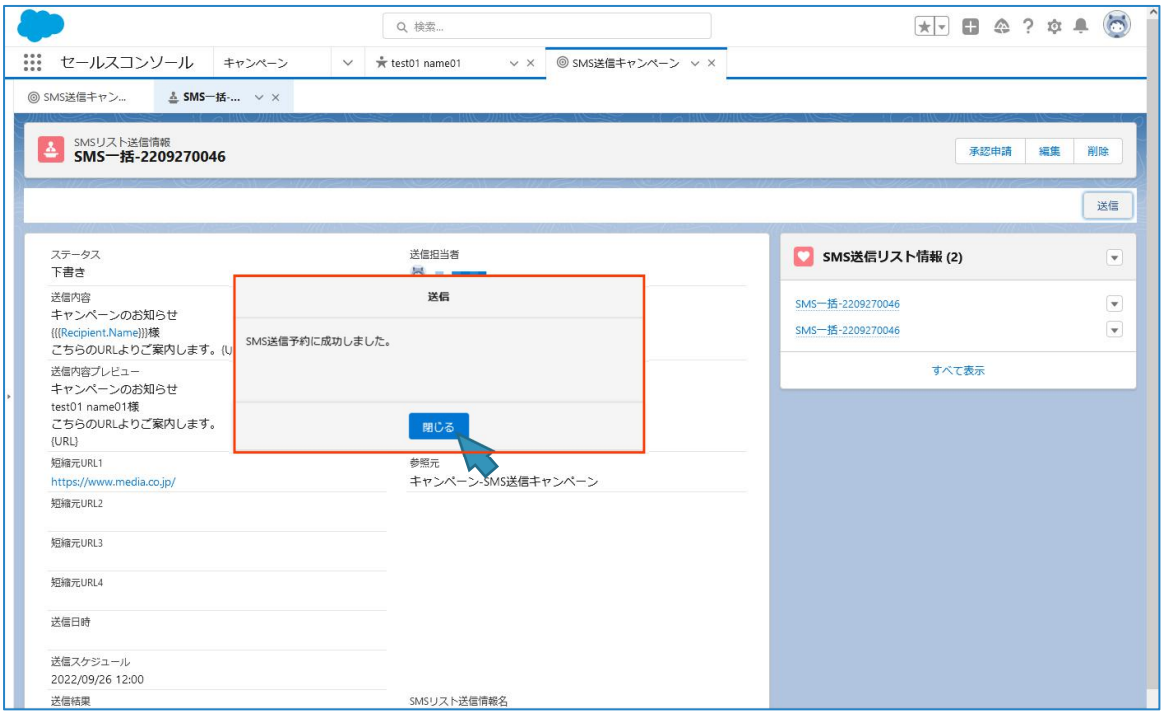
・この際に送信スケジュールを設定している場合はそのスケジュールに送信処理が行われます。スケジュールが未設定の場合は即時送信となります。

・リスト SMS 送信情報作成時点で、「SMS パーミッションフラグがオフとなっている」「送信先電話番号が未設定(携帯が未設定)」となっている対象送信先オブジェクトについては送信が実行されません。

そのため一括送信後のステータスは「**下書き**」のままとなります。

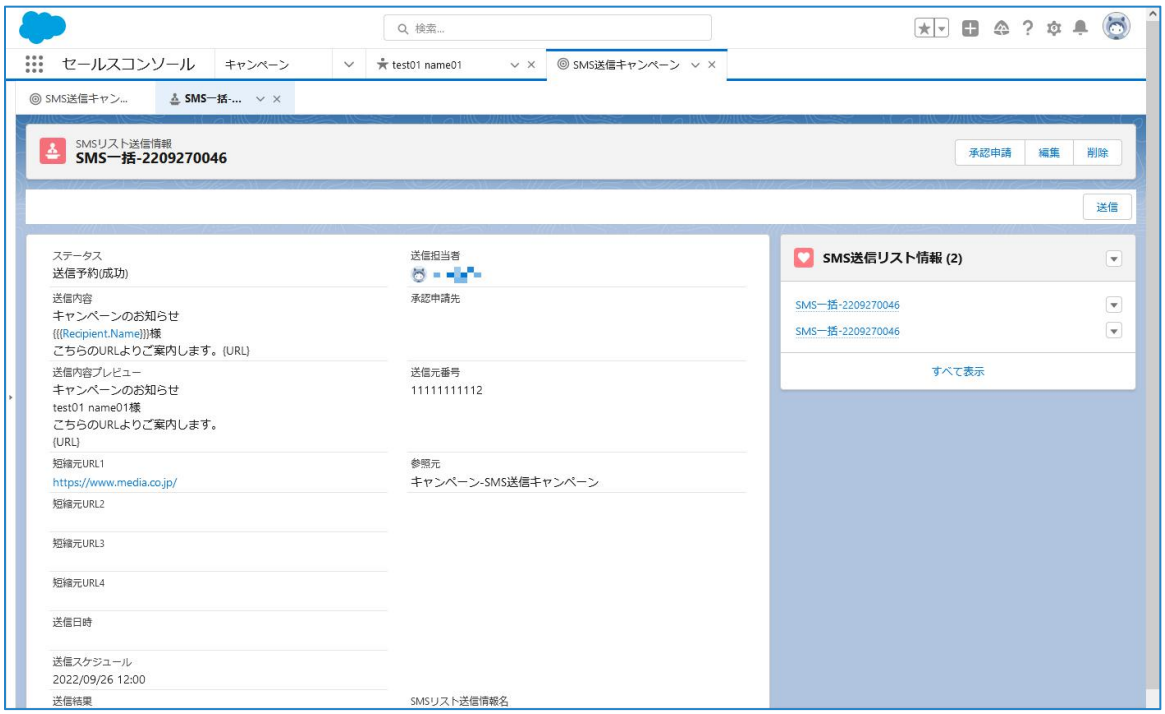
Copyright ©メディア 4u Inc.



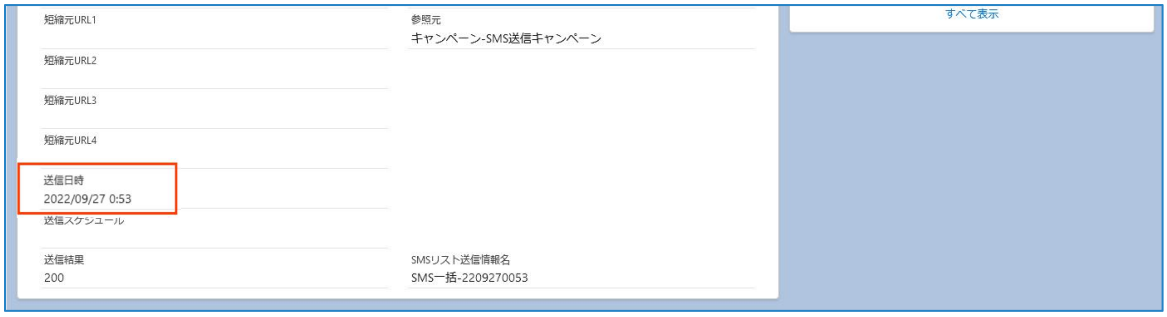


※「SMS 送信予約を行います。」のメッセージが出たままとなってしまう場合は、SMS 送信が可能な状態になっていない可能性があります。再度設定をご確認ください。
（2.ご利用に向けての設定　①～③）

Copyright ©メディア 4u Inc.



事前にスケジュールしたバッチによって送信可否を確認し、ステータスを更新します。
※「SMS リスト送信情報」は送信後、予約完了の意味で「送信予約(成功)」となります。
　携帯番号別の「SMS 送信情報」(関連リスト「SMS 送信リスト情報」)のステータスが「リトライ中」から更新されます。



※送信スケジュールを設定していない場合は、送信リクエスト送信時間を送信日時とします。

Copyright ©メディア 4u Inc.

＊活動の登録について：設定

本アプリには SMS 送信情報/SMS リスト送信情報オブジェクトを保存すると、各リードおよび取引先責任者の活動に下記の内容にて ToDo が作成される機能がございます。この機能を使用される場合はフローが有効化であること、各利用への準備をご確認ください。

①フローの有効化

■設定->プロセスの自動化->フロー

下記画像の通り、[メディア SMS for Salesforce]で始まるフローがあることをご確認ください。

個別の SMS 送信時に活動を作成されたい場合は、

・「メディア SMS for Salesforce_個別送信時の ToDo 作成」

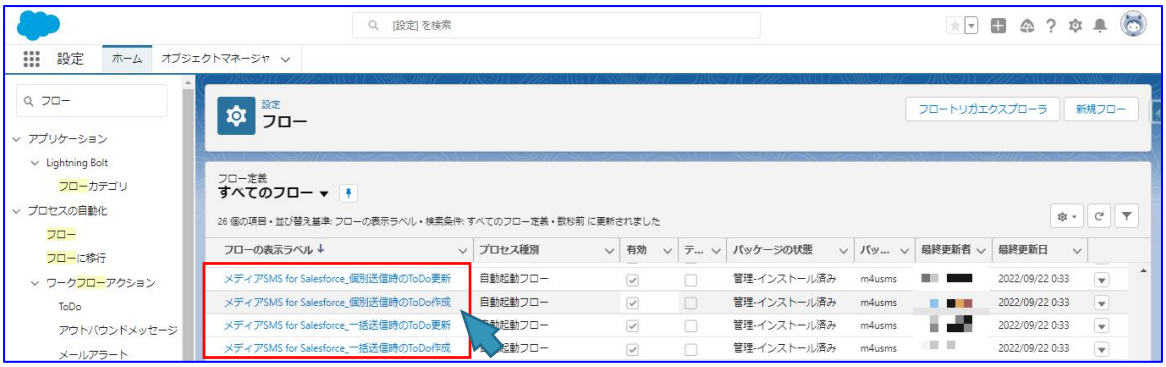
・「メディア SMS for Salesforce_個別送信時の ToDo 更新」

を有効化、一括の SMS 送信時に活動を作成されたい場合は、

・「メディア SMS for Salesforce_一括送信時の ToDo 作成」

・「メディア SMS for Salesforce_一括送信時の ToDo 作成」

を有効化します。



＊有効化の方法

該当フロー右端にあります▼をクリックし、「詳細とバージョンの表示」をクリックします。

詳細画面が表示されましたら、フローのバージョン欄にありますフローの「有効化」リンクをクリックしてください。クリック後、「有効化」の文字列が「無効化」に変化すれば設定完了です。



Copyright ©メディア 4u Inc.



②ToDo の開始と完了の値を設定

ToDo 作成時と完了時の項目「状況」に設定する値を設定してください。

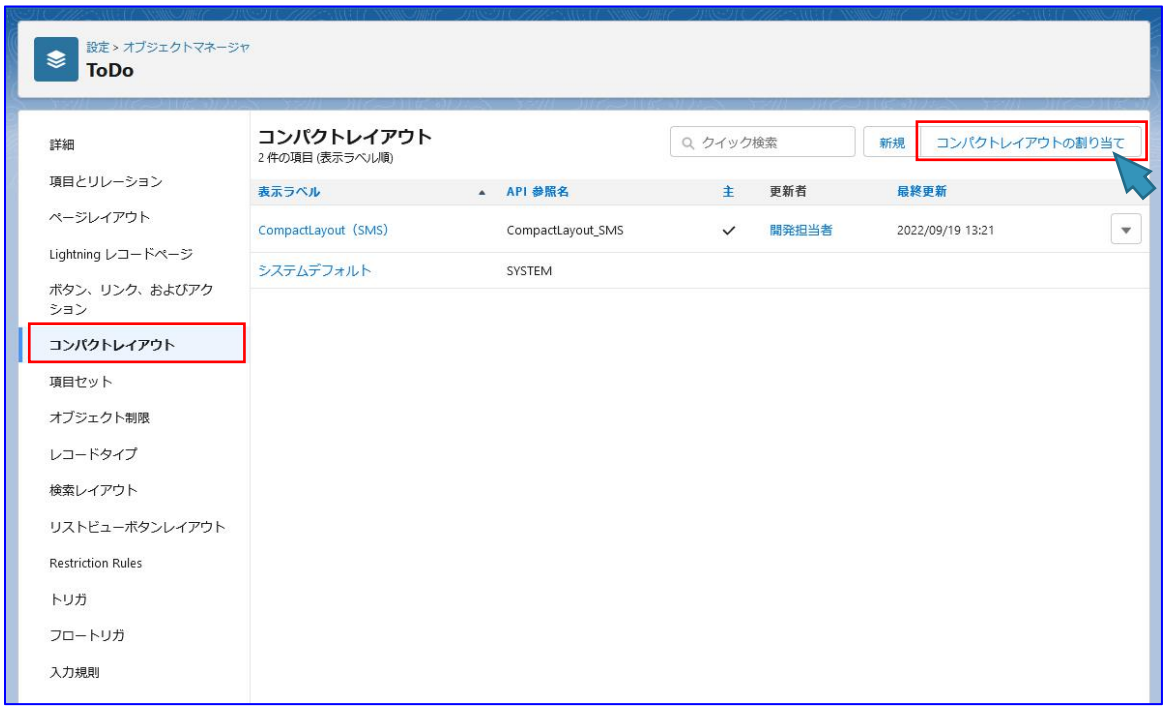
※3. その他の設定「③ カスタムメタデータ型その他の設定」をご確認ください。

③ToDo レイアウトの設定

■設定->オブジェクトマネージャ->ToDo->コンパクトレイアウト->コンパクトレイアウトの割り当て->割り当ての編集

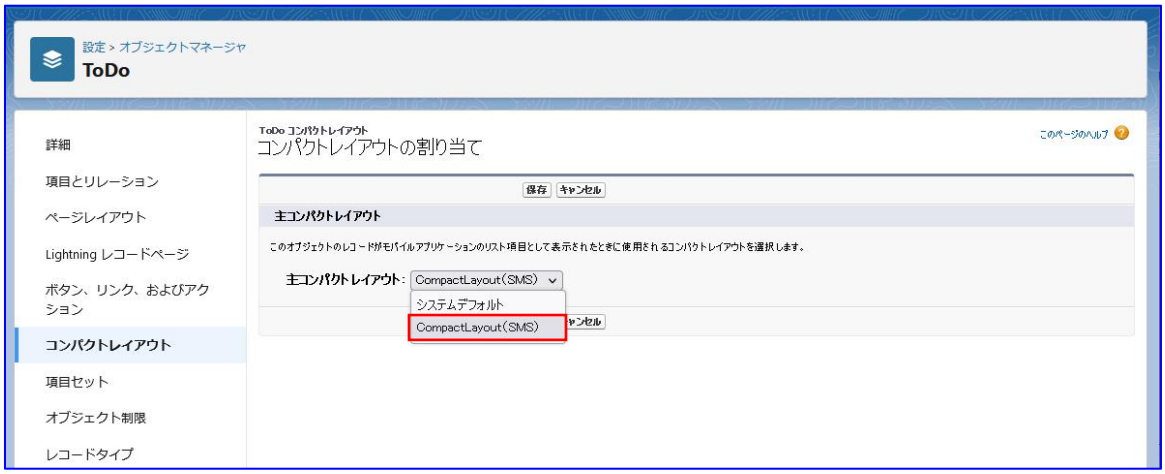
ToDo には「SMS 送信情報」と「リスト SMS 送信情報」を紐づけます。コンパクトレイアウトや活動レイアウト上に該当項目を配置することで、関連情報を確認しやすくできます。

コンパクトレイアウト



Copyright ©メディア 4u Inc.

パッケージには「CompactLayout(SMS)」を用意しています。こちらを使用するか、使用されているレイアウトに「SMS 送信情報」と「SMS リスト送信情報」を配置頂くことで、アクセスが容易になります。





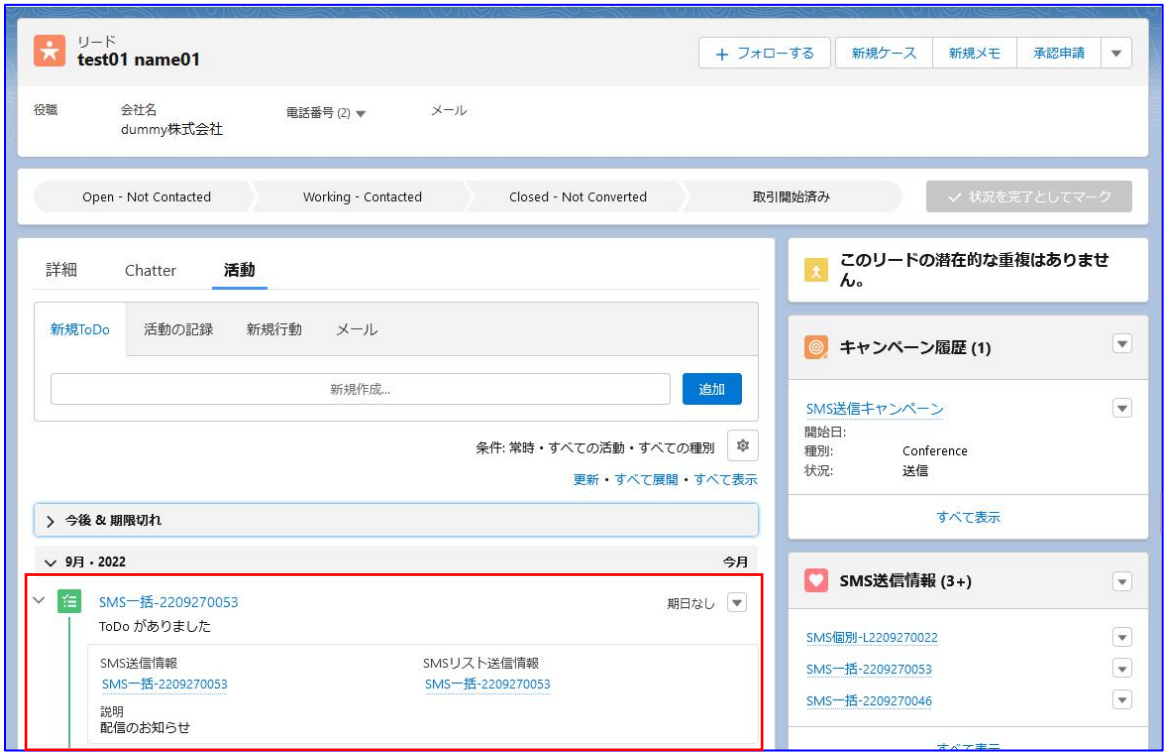
下記のように、レコード詳細画面での活動タイムラインや ToDo 詳細画面での強調レイアウトに表示されます。





Copyright ©メディア 4u Inc.

＊活動の登録について：仕様



SMS 送信情報/SMS リスト送信情報を作成すると、各リードおよび取引先責任者の活動に下記の内容にて ToDo が追加されます。

件名：SMS 送信情報の項目「SMS 送信名」
説明(コメント)：送信本文
期日：(一括にて送信スケジュールを設定した場合のみ) 送信予定日
状況：カスタムメタデータにて設定した「ToDo ステータス_開始」の値
名前：各リード・取引先オブジェクト

SMS 送信情報: 個別送信もしくは一括送信で作成された SMS 送信情報のレコード
SMS リスト送信情報:一括送信で作成された SMS リスト送信情報のレコード

SMS 送信情報/SMS リスト送信情報を編集した場合、説明(コメント)および期日について更新内容が反映されます。
SMS 送信情報/SMS リスト送信情報オブジェクトにて送信を行い、ステータスが「送信済み(成功)」となった場合は、ToDo の状況は自動的にカスタムメタデータにて設定した「ToDo ステータス_完了」の値へ更新されます。

Copyright ©メディア 4u Inc.

※SMS 送信情報/SMS リスト送信情報オブジェクトを削除した場合、紐づいている ToDo は同時に削除されません。
ToDo のみを手動で削除した場合も、SMS 送信情報/SMS リスト送信情報オブジェクトはそのままとなります。

Copyright ©メディア 4u Inc.

＊活動オブジェクトが追加されない場合

SMS 送信情報/SMS リスト送信情報オブジェクトを保存後に ToDo が追加されなかった場合は、お手数をお掛け致しますが、以下設定をご確認ください。

■オブジェクトマネージャ->「SMS 送信情報オブジェクト」および「SMS リスト送信情報オブジェクト」->詳細



編集ボタンをクリックし、追加の機能項目の「活動を許可」にチェックが入っているかご確認ください。チェックが付いていない場合は、チェックを入れた上で保存してください。

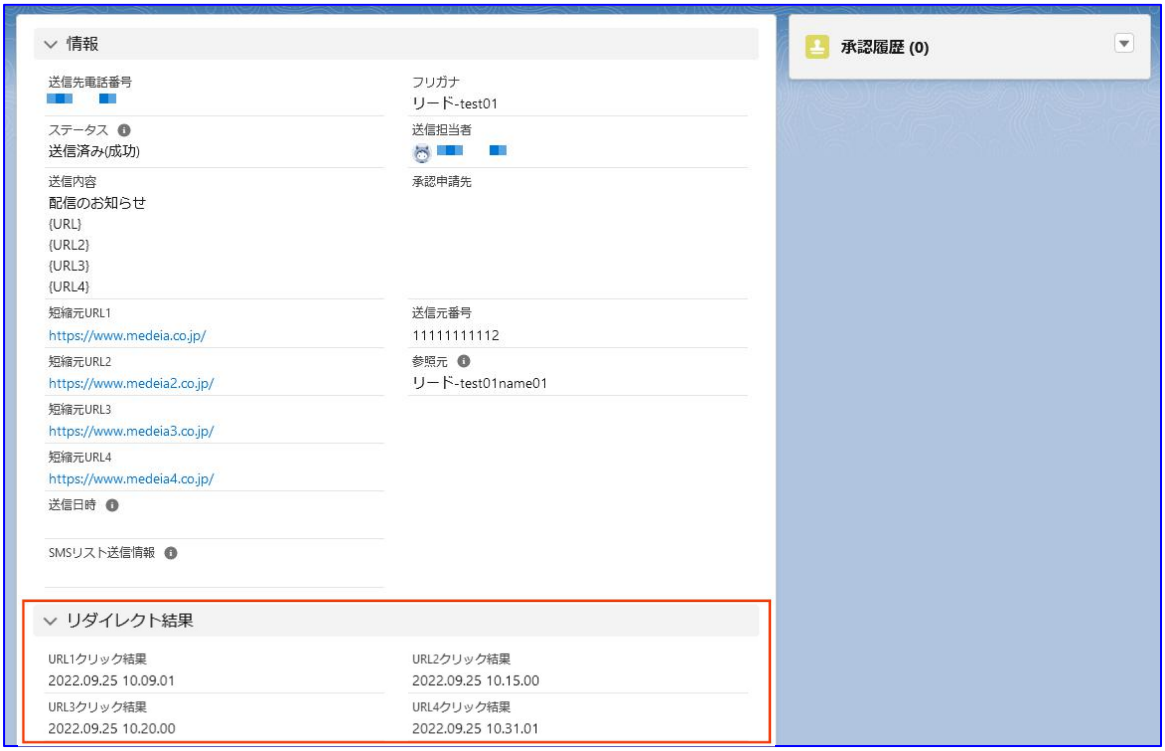
（チェックを入れる際にポップアップメッセージが表示された場合は、閉じてください。）



Copyright ©メディア 4u Inc.

EX.URL クリック状況確認の設定

・本機能ではメール本文中に最大4つの短縮 URL を含める機能があります。(短縮 URL) この各 URL を受診者がクリックした最新日時を取得し、レコード詳細画面に反映することができます。本項目はデフォルトのレイアウト上にて、「リダイレクト結果」セクション内に配置しております。



(任意のページレイアウト上に「URL1 クリック結果」~「URL4 クリック結果」を配置頂くことでも確認可能です。)

＊クリック結果を取得するための設定

① URL クリック結果を取得するためのバッチを設定

最新 URL クリック結果を取得するための定期バッチを実行します。

開発コンソールの「Debug」「Open Execute Anonymous Window」で Enter Apex Code を開き、次ページの**バッチ登録コード**を入力して「Execute」を押してください。

(詳細は P12 の設定をご確認ください。)

※既に何らかのコードが記載されている場合、必要に応じて退避して頂き、バッチ登録コードのみが記載された状態となるようにしてから実行してください。**削除されたコードは戻りません。**

Copyright ©メディア 4u Inc.

設定後は以下より確認できます。
■設定->環境->ジョブ->スケジュール済みジョブ
「SMS リダイレクト結果更新バッチ〇〇」という名称でバッチが 30 分置きに設定されます。

バッチ登録コード

```
m4usms.SMSLastRedirectUpdateCsvNewBatchSchedule sch_rd1
= new m4usms.SMSLastRedirectUpdateCsvNewBatchSchedule();
System.schedule('SMS リダイレクト結果更新バッチ 00', '0 0 * * * ?', sch_rd1);
m4usms.SMSLastRedirectUpdateCsvNewBatchSchedule sch_rd2
= new m4usms.SMSLastRedirectUpdateCsvNewBatchSchedule();
System.schedule('SMS リダイレクト結果更新バッチ 30', '0 30 * * * ?', sch_rd2);
```

② カスタムメタデータにて確認期間を設定
本バッチにて、送信日時より何か月前までの SMS 送信情報を確認対象とするか設定します。
デフォルトは 3 ヶ月前までの SMS 送信情報を対象としています。下記メタデータ型にて最大 6 ヶ月前までの SMS 送信データを確認できるよう設定が可能です。(6 以上を入力された場合でも最大 6 ヶ月前までを取得する仕様となっております。)
(詳細は③カスタムメタデータ型その他の設定をご確認ください。)

■設定->カスタムコード->カスタムメタデータ型
すべてのカスタムメタデータ型より、「SMS 送信情報設定」の「レコードの管理」を選択します。「デフォルト設定」の編集画面にて、下記値を設定してください。
URL クリック結果取得期間月

＊利用例
SMS 送信後、受信者が SMS 本文内の URL をクリックした場合にクリックした最新の日時を取得、自動で対象レコードに反映されます。この日時取得は毎時 00 分と 30 分に行われます。

SMS 送信情報に関連するレポートを作成頂くことで、受信者がいつ URL を確認したかを一覧化できます。URL を確認された受信者向けにマーケティングやアンケート活動を行うなどといった形でご活用頂けます。
※下記画像は一例となります。

Copyright ©メディア 4u Inc.



	短縮元URL1	短縮元URL2	短縮元URL3	短縮元URL4	URL1クリック結果	URL2クリック結果	URL3クリック結果
1	https://www.media.co.jp/	-	-	-	-	-	-
2	https://www.media.co.jp/	-	-	-	-	-	-
3	https://www.medeia.co.jp/	https://www.medeia2.co.jp/	https://www.medeia3.co.jp/	https://www.medeia4.co.jp/	2022.09.25 10.09.01	2022.09.25 10.15.00	2022.09.25 10.20.00

Copyright ©メディア 4u Inc.

EX2.うまくいかないときのトピックス

① SMS 送信情報作成後の「保存」や「送信」が動作しない

→ 本アプリは「コンソールアプリケーション」にて動作するものとなります。
既存のコンソールアプリケーション(セールスコンソールやサービスコンソール)、もしくはお使いのアプリケーションに合わせて新たにコンソールアプリケーションを作成頂き、ご利用ください。





② SMS 送信後実際に受信されるも、ステータスがリトライ中から変化しない。

→ バッチの設定がされていない可能性があります。「⑦ SMS 送信結果受信バッチスケジュール設定」をご確認の上、バッチを設定してください。
また送信後 15 分(もしくは 30 分)後はステータスの更新が行われません。再度時間を置いてご確認ください。



③ 一括送信時、受信した文面が「M4U API サーバのエンコード設定に誤りがあります。」となる。

→ メディア 4u の問い合わせより、事象をご連絡ください。

Copyright ©メディア 4u Inc.